

令和9年度
(2027年度)

入 学 者 選 抜 要 項

この入学者選抜要項に記載されている内容は、やむを得ない事情等により、変更になる場合があります。出願にあたっては、今後本学のWebページで発表する学生募集要項や本学Webページの情報等を必ず確認してください。各選抜の学生募集要項は、それぞれの出願開始日の概ね2カ月前に発表する予定です。

山 口 県 立 大 学

目 次

1 山口県立大学の教育理念と求める学生像	1
2 入学者選抜の基本方針	1
3 国際文化学部について	2
4 社会福祉学部について	6
5 看護栄養学部について	8
6 試験実施方式等	11
7 募集人員及び入学定員	12
8 入学試験実施日程	
〔1〕総合型選抜	13
〔2〕学校推薦型選抜	13
〔3〕一般選抜	
①前期日程・後期日程	14
②外国人留学生	14
9 総合型選抜	
〔1〕出願要件	15
〔2〕入学前学習	22
10 学校推薦型選抜	
〔1〕県内高校枠	23
〔2〕地域貢献人材発掘枠	30
〔3〕入学前学習	37
11 一般選抜(前期日程・後期日程)	
〔1〕出願要件	38
〔2〕出願期間	38
〔3〕各学科の評価基準・合否判定基準等	39
【参考】一般選抜における大学入学共通テストの教科・科目選択について	45
12 一般選抜(外国人留学生)	46
13 障害等のある入学志願者との事前相談	49
14 入学資格審査	50
15 入試情報の開示	52
16 高等教育の修学支援新制度	52
17 出願方法	52
《参考資料》	
入学者選抜一覧表(過去3年分)	57
山口県立大学案内図	60

1 山口県立大学の教育理念と求める学生像

山口県立大学は、「人間性の尊重」、「生活者の視点の重視」、「地域社会との共生」、「国際化への対応」の4つを教育の基本理念として掲げ、地域における知の拠点として住民の健康の増進及び個性豊かな地域文化の進展に資する専門の学術を深く教授研究するとともに、高度な知識及び技能を有する人材の育成並びに研究成果の社会への還元による地域貢献活動を積極的に展開し、もって人々が生き生きと暮らす社会の形成に資する人材を育成することを目的としています。

そのために、次のような学生を求めています。

- 自分と異なる考え方や価値観を受け入れることのできる素養のある人
- 一人一人のいのちを大切に思い、人々の生命と生活の質の向上に寄与したい人
- 地域の諸課題を自発的に探求・解明し、地域の発展に貢献したい人
- 自国および外国の言語や文化の学びを通して、自己の国際化に努めようとする人

2 入学者選抜の基本方針

山口県立大学の教育理念及び各学部学科の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に基づき、山口県立大学の教育を受けるにふさわしい能力・適性などを備えた入学者を受け入れるために、学力の3要素を多面的・総合的に評価する入学者選抜を実施します。

総合型選抜では、自己推薦書、講義理解力試験、個人プレゼンテーション、面接を用いて基礎学力や各学部学科が求める知識・技能を測るとともに、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度・協働性などを総合的に評価します。

学校推薦型選抜の県内高校枠では、出願書類、小論文、総合問題、面接を用いて基礎学力や各学部学科が求める知識・技能を測るとともに、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度・協働性などを総合的に評価します。地域貢献人材発掘枠では、県内高校枠の選抜方法に加えて、活動報告書を用いて学校の内外で意欲的に取り組んだ活動等の過程、成果及び展望を評価し、この入試区分の趣旨に適合した人材を発掘します。

一般選抜（前期日程、後期日程）では、高等学校で履修した教科の基礎学力を大学入学共通テストで評価するとともに、本学での学修に必要とされる知識・技能だけでなく、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度・協働性などを幅広く測る小論文、面接などの個別学力試験を行い、総合的に評価します。

一般選抜（外国人留学生）では、出願書類、小論文、面接を用いて、本学での学修に必要な日本語運用能力と国際文化学部の各学科が求める知識・技能を測るとともに、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度・協働性などを総合的に評価します。

3 国際文化学部について

国際文化学部国際文化学科は、多文化共生マインドを基礎として、自文化理解はもとより異文化理解力と外国語運用能力を有し、対話と協調に基づいたパートナーシップを育み、地域の国際化のために主体的に行動できる人材の育成を目的としています。

国際文化学部文化創造学科は、多文化共生マインドを基礎として、自文化理解はもとより異文化理解力と表現力を有し、個性豊かな地域文化の価値を再発見し、文化の振興と創造に向けて主体的に行動できる人材の育成を目的としています。

国際文化学部情報社会学科は、地域や企業が抱える様々な課題に対して、デジタル技術を活用して、人間中心の視点からの発想により、新たな解決方策やイノベーションを創出し、デジタル社会の実現に貢献できる人材の育成を目的としています。

(1) 国際文化学部 国際文化学科のアドミSSION・ポリシー

① 求める学生像

教育課程編成・実施の方針に定める教育を通して、卒業認定・学位授与の方針に定める学修の成果をあげるために必要な、次に掲げる学力を備えた人を求めます。

《知識・技能》

高等学校の教育課程を幅広く修得し、国内外の多様な文化や価値観について学ぶための基礎的な知識や理解力と語学力を身に付けている。

《思考力・判断力・表現力》

国内外における多様な文化や価値観について自分の考え・意見をまとめ、論理的に分かりやすく伝えることができる。

《主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度》

異なる文化や多様な考えを持つ人々と信頼関係を構築し、地域の国際化や多文化共生に積極的に挑戦しようとする意欲がある。

② 高等学校段階までの学習で身に付けてほしいこと

国際文化学科では、地域の国際化や多文化共生社会の実現に貢献できる人材の育成を目標とした教育を行っています。そのため、高等学校段階までのすべての教科の基礎的な知識・技能と積極的に学ぼうとする態度が必要です。特に、教科別に身に付けてほしいことを次に掲げます。

- ▶「国語」：基礎的な文章理解力、表現力、思考力、コミュニケーション能力
- ▶「外国語（英語）」：基礎的な文章理解力、表現力、思考力、コミュニケーション能力
- ▶「地理歴史・公民」及び「理科」：高等学校教育課程修了にふさわしい基礎的な学力
- ▶「数学」及び「情報」：高等学校教育課程修了にふさわしい基礎的な学力とその学力を地域のデジタル化推進のために主体的に活用しようとする姿勢
- ▶その他、「芸術」、「家庭」、「保健体育」など、あらゆる分野にわたって基礎的・常識的な知識と関心を持ち、新しい課題に対して積極的に取り組もうとする態度を備えていることが望まれます。

③ 入学者に予め身に付けておくことを求める学力と入学者選抜方法の対照表

入 試 種 別		総合型選抜			学校推薦型選抜							一般選抜							
					県内高校枠			地域貢献人材 発掘枠				前期日程			後期日程		外国人留学生		
選 抜 方 法		一次 選抜	二次 選抜		小論文	面 接	調査書	小論文	面 接	調査書	活 動 報告書	大学入学 共通テスト	小論文	面 接	大学入学 共通テスト	面 接	日本留学 試 験	小論文	面 接
		自 己 推薦書	講 義 理解力 試 験	面 接															
素 点		100	200	100	150	100	50	150	100	50	100	700	200	100	700	200	総合的に評価する		
評 価 の 比 重(*1)		100	67	33	50	33	17	38	25	13	25	70	20	10	78	22			
評価の 観点	《知識・技能》		○		○		○	○		○		○	○		○		○	○	○
	《思考力・判断力・ 表現力》	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○
	《主体性を持って 多様な人々と協働 して学ぶ態度》	○	○	○			○			○	○	○			○				○

(*1) 各入試種別の合計点に対する選抜方法ごとの素点の割合(%)であり、小数点以下を四捨五入した。

(2) 国際文化学部 文化創造学科のアドミッション・ポリシー

① 求める学生像

教育課程編成・実施の方針に定める教育を通して、卒業認定・学位授与の方針に定める学修の成果をあげるために必要な、次に掲げる学力を備えた人を求めます。

《知識・技能》

高等学校の教育課程を幅広く修得し、地域文化の探究と創造について学ぶための基礎的な知識や理解力を身に付けている。

《思考力・判断力・表現力》

ことばや絵・デザインなどの情報を駆使して、日本文化や地域文化の価値について、自らの思考や判断を伝え表現することができる。

《主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度》

異なる文化や多様な考えを持つ人々と交流し、地域文化の活性化に貢献しようとする意欲がある。

② 高等学校段階までの学習で身に付けてほしいこと

文化創造学科では、日本文化や地域文化への深い理解を持ち、地域社会のデジタル化の推進や新たな地域をデザインする力をもって地域文化の活性化に貢献できる人材の育成を目標としています。そのため、高等学校段階までの幅広い領域の学力が必要です。特に、教科別に身に付けてほしいことを次に掲げます。

- ▶ 「国語」：あらゆる科目の基礎として必要な、読解力、論理的な思考力、表現力及びコミュニケーション能力の他、日本文化や地域文化を学ぶうえでの基礎的な知識や技術
- ▶ 「外国語（英語）」：文化に関することからを普遍的に考えるために必要な外国語能力と読解力、及び外国語で自らの考えを表明する表現力とコミュニケーション能力
- ▶ 「地理歴史・公民」：将来、地域社会や世界において良識ある人物として活躍できるための知識・探究力、及び問題解決に主体的に取り組む姿勢を取るために必要な能力
- ▶ 「数学」及び「情報」：基本的な概念や原理・法則をよく理解したうえでの知識と計算力、論理的思考方法及びデータを理解し活用する基本的なスキル並びに地域のデジタル化推進に取り組む姿勢を取るために必要な能力

- ▶「理科」：基礎的な知識、及び様々な自然現象について科学的な観点から探究しようとする態度
- ▶その他、「芸術」など、あらゆる分野にわたって基礎的・常識的な知識と関心、新しい課題に対する積極性や地域文化の活性化に取り組む姿勢を取るために必要な能力を備えていることが望まれます。

③ 入学者に予め身に付けておくことを求める学力と入学者選抜方法の対照表

入 試 種 別		総合型選抜			学校推薦型選抜							一般選抜							
					県内高校枠			地域貢献人材 発掘枠				前期日程			後期日程		外国人留学生		
選 抜 方 法		一次 選抜	二次 選抜		小論文	面 接	調査書	小論文	面 接	調査書	活 動 報告書 による プレゼン テーション	大学入学 共通テスト	小論文	面 接	大学入学 共通テスト	面 接	日本留学 試 験	小論文	面 接
		自 己 推薦書	個 人 プレゼン テーション																
素 点		100	200	100	200	100	50	200	100	20	80	700	150	50	700	200	総合的に評価する		
評 価 の 比 重(*1)		100	67	33	57	29	14	50	25	5	20	78	17	6	78	22			
評価の 観点	《知識・技能》		○		○		○	○		○		○	○		○		○	○	○
	《思考力・判断力・ 表現力》	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○
	《主体性を持って 多様な人々と協働 して学ぶ態度》	○	○	○		○	○	○		○	○	○			○		○		○

(*1) 各入試種別の合計点に対する選抜方法ごとの素点の割合（％）であり、小数点以下を四捨五入した。

(3) 国際文化学部 情報社会学科のアドミッション・ポリシー

① 求める学生像

教育課程編成・実施の方針に定める教育を通して、卒業認定・学位授与の方針に定める学修の成果をあげるために必要な、次に掲げる学力を備えた人を求めます。

《知識・技能》

高等学校の教育課程を幅広く修得し、情報技術を用いた課題解決について学ぶための基礎的な知識や理解力を身に付けている。

《思考力・判断力・表現力》

課題解決のために収集した情報を解釈し、自分の考え・意見をまとめ、分かりやすく伝え表現することができる。

《主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度》

異なる文化や多様な考えを持つ人々を受容し、情報技術を活用して地域が抱える課題の解決を行おうとする意欲がある。

② 高等学校段階までの学習で身に付けてほしいこと

この世界はたくさんの情報から成っています。しかし、情報は、それを見つける力を持たなければ手にすることはできません。情報社会学科では、この「情報を見つける力」を獲得し、さまざまなところから情報を取得し活用することを目指します。そして情報の活用により人々をつなぎ、世界を良くする人材を育成します。そのためには、高等学校段階までの幅広い領域の学力が必要です。特に、教科別に身に付けてほしいことを次に掲げます。

- ▶「国語」：あらゆる科目の基礎として必要な、読解力及び解釈力、また論理的な思考力・表現力
- ▶「外国語（英語）」：外国語で書かれた文章の読解力や解釈力、外国語で自らの考えを表明する表現力

- ▶「地理歴史・公民」：将来、地域社会や世界において良識ある人物として活躍できるための知識・探究力及び問題解決に必要な能力
- ▶「数学」及び「情報」：数式やプログラム等によって世界が記述できるという考え方及び基本的な概念や原理・法則の理解
- ▶「理科」：科学的な観点・思考及び各領域における基本的な知識や法則
- ▶その他、ここに掲げていない分野（「芸術」や「保健体育」など）や課外活動等にも積極的に取り組んでおくことが望まれます。

③ 入学者に予め身に付けておくことを求める学力と入学者選抜方法の対照表

入 試 種 別		総合型選抜			学校推薦型選抜							一般選抜							
					県内高校枠			地域貢献人材 発掘枠				前期日程			後期日程		外国人留学生		
選 抜 方 法		一次 選抜	二次 選抜		小論文	面 接	調査書	小論文	面 接	調査書	活 動 報告書	大学入学 共通テスト	小論文	面 接	大学入学 共通テスト	面 接	日本留学 試 験	小論文	面 接
		自 己 推薦書	講 義 理解力 試 験	面 接															
素 点		100	200	100	150	100	50	160	100	60	80	700	150	50	700	200	総合的に評価する		
評 価 の 比 重(*1)		100	67	33	50	33	17	40	25	15	20	78	17	6	78	22			
評価の 観点	《知識・技能》		○		○		○	○		○		○	○		○		○	○	○
	《思考力・判断力・ 表現力》	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○
	《主体性を持って 多様な人々と協働 して学ぶ態度》	○	○	○		○	○		○	○	○			○		○			○

(*1) 各入試種別の合計点に対する選抜方法ごとの素点の割合（％）であり、小数点以下を四捨五入した。

4 社会福祉学部について

社会福祉学部社会福祉学科は、地域共生社会における多様な福祉ニーズに対応できる広い視野と福祉マインドを基盤として、専門知識と豊かな共感力、想像力を有するとともに、支援を必要とするすべての人々の生活課題の解決に向けて、連帯・協働しながら主体的に考えて行動できる実践力と高い倫理観を有する人材の育成を目的としています。

(1) 社会福祉学部 社会福祉学科のアドミSSION・ポリシー

① 求める学生像

教育課程編成・実施の方針に定める教育を通して、卒業認定・学位授与の方針に定める学修の成果をあげるために必要な、次に掲げる学力を備えた人を求めます。

《知識・技能》

高等学校の教育課程を幅広く修得し、社会福祉の理論や実践について学ぶための基礎的な知識や理解力を身に付けている。

《思考力・判断力・表現力》

誰もが幸せに暮らせる社会の実現について他者とともに語らい、自分の意見をまとめて伝えることができる。

《主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度》

人や社会に関心があり、他者を理解し共感しながら福祉社会の実現のために貢献しようとする意欲がある。

② 高等学校段階までの学習で身に付けてほしいこと

社会福祉学科では、社会福祉の理論や実践を学ぶために、高等学校段階の教育課程を幅広く修得し、国語・英語の基礎能力を基盤としつつ、社会への関心を強く持ち、社会における課題を解決するための基礎的な能力を身に付けておくことが望まれます。特に、教科別に身に付けてほしいことを次に掲げます。

- ▶ 「国語」：基礎的な読解力・表現力・コミュニケーション能力・思考力
- ▶ 「英語」：基礎的な読解力・表現力・コミュニケーション能力
- ▶ 「地理歴史・公民」、「数学」、「情報」及び「理科」：高等学校教育課程修了にふさわしい学力
- ▶ 「福祉*」：社会福祉の基礎的な知識 *福祉科や総合学科など、「社会福祉基礎」等を学ぶ教育課程がある高等学校等
- ▶ その他、探究的な見方・考え方を身に付け、課題解決を行うための基礎的な能力を備えていることが望まれます。

③ 入学者に予め身に付けておくことを求める学力と入学者選抜方法の対照表

入 試 種 別		総合型選抜			学校推薦型選抜				一般選抜			
					県内高校枠		地域貢献人材 発掘枠		前期日程		後期日程	
選 抜 方 法		一次 選抜	二次 選抜		面 接	調 査 書	面 接	活 動 報 告 書	大学入学 共通テスト	面 接	大学入学 共通テスト	面 接
		自 己 推 薦 書	個 人 プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン	面 接								
素 点		100	100	200	200	50	200	100	600	500	600	500
評 価 の 比 重(*1)		100	33	67	80	20	67	33	55	45	55	45
評価の観点	《知識・技能》		○		○	○	○		○	○	○	○
	《思考力・判断力・ 表現力》	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	《主体性を持って 多様な人々と協働 して学ぶ態度》	○	○	○	○	○	○	○		○		○

(*1) 各入試種別の合計点に対する選抜方法ごとの素点の割合（％）であり、小数点以下を四捨五入した。

5 看護栄養学部について

看護栄養学部看護学科は、少子・超高齢社会において、地域のあらゆる人々の健康の維持・増進と生活の質の向上を推進するために、確かな基礎看護力を基盤とした課題解決のための思考力と多職種協働力を備えた質の高い専門性を有する看護人材の育成を目的としています。

看護栄養学部栄養学科は、少子・超高齢社会において、地域のあらゆる人々の健康と生活の質の向上を積極的に推進するために、対人援助力、課題解決思考力及び多職種協働力を備えた質の高い専門性を有する管理栄養士の育成を目的としています。

(1) 看護栄養学部 看護学科のアドミッション・ポリシー

① 求める学生像

教育課程編成・実施の方針に定める教育を通して、卒業認定・学位授与の方針に定める学修の成果をあげるために必要な、次に掲げる学力を備えた人を求めます。

《知識・技能》

高等学校の教育課程を幅広く修得し、看護の理論や実践について学ぶための基礎的な知識や理解力を身に付けている。

《思考力・判断力・表現力》

人を取りまく様々な現象に自ら疑問を持ち、事実をもとに自分の意見をまとめて伝えることができる。

《主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度》

人や看護に関心があり、責任感や協調性を持って保健医療福祉のために貢献しようとする意欲がある。

② 高等学校段階までの学習で身に付けてほしいこと

看護学科では、社会の変化に対応し、地域のあらゆる人々の健康の維持・増進と生活の質の向上を推進するために、幅広い分野の知識と技術を習得し、看護を実践する能力や多職種協働のできる能力を培います。そのために、高等学校段階での教育課程を幅広く習得し、大学での学びの基礎となる基礎学力を身に付けておくことが望まれます。特に、教科別に身に付けてほしいことを次に掲げます。

- ▶ 「国語」及び「外国語（英語）」：文意を正確に読み取る読解力、論理的思考力、自らの考えを表現する力、多様な人々とコミュニケーションをとるための能力
- ▶ 「地理歴史・公民」：物事を社会的視点から理解する能力
- ▶ 「数学」及び「情報」：数学の基本的な概念や計算の基礎、論理的思考力、データサイエンスを学ぶための基本的なコンピュータリテラシーやデータの取扱いの基礎的能力
- ▶ 「理科」：生命現象を理解するうえで必要となる生物や化学等の自然科学の基礎的知識と科学的思考力と探究力
- ▶ その他、特別活動や課外活動を通じて培った積極性や責任感、主体性、協調性を備えていることが望まれます。

③ 入学者に予め身に付けておくことを求める学力と入学者選抜方法の対照表

入 試 種 別		総合型選抜			学校推薦型選抜						一般選抜			
					県内高校枠			地域貢献人材 発掘枠			前期日程		後期日程	
選 抜 方 法		一次 選抜	二次 選抜		総合問題	面 接	調 査 書	総合問題	面 接	活 動 報告書	大学入学 共通テスト	面 接	大学入学 共通テスト	面 接
		自 己 推薦書	個 人 プレゼン テーション	面 接										
素 点		100	200	100	250	200	50	250	100	100	700	200	600	300
評 価 の 比 重(*1)		100	67	33	50	40	10	56	22	22	78	22	67	33
評価の観点	《知識・技能》		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	《思考力・判断力・ 表現力》	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	《主体性を持って 多様な人々と協働 して学ぶ態度》	○		○			○	○		○		○		○

(*1) 各入試種別の合計点に対する選抜方法ごとの素点の割合（％）であり、小数点以下を四捨五入した。

(2) 看護栄養学部 栄養学科のアドミッション・ポリシー

① 求める学生像

教育課程編成・実施の方針に定める教育を通して、卒業認定・学位授与の方針に定める学修の成果をあげるために必要な、次に掲げる学力を備えた人を求めます。

《知識・技能》

高等学校の教育課程を幅広く修得し、栄養管理の理論や実践について学ぶための基礎的な知識や理解力を身に付けている。

《思考力・判断力・表現力》

社会における様々な課題について多面的に考察し、自分の意見を論理的に分かりやすく伝えることができる。

《主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度》

食と健康に関心があり、責任感や協調性を持って人々の健康福祉のために貢献しようとする意欲がある。

② 高等学校段階までの学習で身に付けてほしいこと

栄養学科では、少子・超高齢社会において、地域のあらゆる人々の健康と生活の質の向上を積極的に推進するために、対人援助力、課題解決思考力及び多職種協働力を備えた質の高い専門性を有する管理栄養士の育成を目的としています。このような質の高い管理栄養士となるために、必要とされる幅広い基礎的な能力を高等学校段階の教育課程で身に付けておくことが望まれます。そのため、特に、教科別に身に付けてほしいことを次に掲げます。

- ▶ 「国語」及び「外国語（英語）」：文意を正確に読み取る読解力、論理的思考力、自らの考えを表現する力及び多様な人々とコミュニケーションをとるための能力
- ▶ 「地理歴史・公民」：物事を社会的視点から理解する能力
- ▶ 「数学」及び「情報」：数学の基本的な概念や計算の基礎、論理的思考力、データサイエンスを学ぶための基本的なコンピュータリテラシーやデータの取扱いの基礎的な能力
- ▶ 「理科」：生命現象や食品の特性を理解するうえで必要となる生物や化学等の自然科学の基礎的な知識と科学的思考力と探究力
- ▶ その他、特別活動や課外活動を通じて培った積極性や責任感、主体性、協調性を備えていることが望まれます。

③ 入学者に予め身に付けておくことを求める学力と入学者選抜方法の対照表

入 試 種 別		総合型選抜			学校推薦型選抜				一般選抜			
					県内高校枠		地域貢献人材 発掘枠		前期日程		後期日程	
選 抜 方 法		一次 選抜	二次 選抜		面 接	調 査 書	面 接	活 動 報 告 書	大学入学 共通テスト	面 接	大学入学 共通テスト	面 接
		自 己 推 薦 書	個 人 プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン	面 接								
素 点		100	200	100	200	100	200	100	700	100	800	200
評 価 の 比 重(*1)		100	67	33	67	33	67	33	88	13	80	20
評価の観点	《知識・技能》		○		○	○	○		○		○	
	《思考力・判断力・ 表現力》	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	《主体性を持って 多様な人々と協働 して学ぶ態度》	○		○	○	○	○	○		○		○

(*1) 各入試種別の合計点に対する選抜方法ごとの素点の割合（％）であり、小数点以下を四捨五入した。

6 試験実施方式等

本学の入学者選抜は、次の要領で実施します。

- 1 入学者選抜は、総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜により行います。
- 2 学校推薦型選抜は、2つの募集枠(県内高校枠・地域貢献人材発掘枠)がありますが、併願はできません。
- 3 一般選抜(前期日程・後期日程)は、「分離・分割方式」により行います。
学内併願の制限を設けませんので、前期日程と後期日程の併願を認めます。
- 4 一般選抜(外国人留学生)は、国際文化学部国際文化学科、文化創造学科及び情報社会学科で行います。
社会福祉学部社会福祉学科、看護栄養学部看護学科及び栄養学科は行いません。

7 募集人員及び入学定員

学部	学科	入学 定員	募集人数						
			総合型 選 抜	学校推薦型選抜		一般選抜			
				県内高校枠	地域貢献 人材発掘 枠	前期 日程	後期 日程	外国人 留学生	
国際文化	国際文化	50	5	16	若干名	9	16	4	若干名
	文化創造	45	5	14	若干名	8	15	3	若干名
	情報社会	40	5	13	若干名	7	12	3	若干名
社会福祉	社会福祉	87	9	28	若干名	15	28	7	—
看護栄養	看 護	55	4	22	若干名	5	21	3	—
	栄 養	42	2	12	若干名	8	18	2	—
合計		319	30	105		52	110	22	若干名

(備考)

- ・総合型選抜及び学校推薦型選抜において各学科の合格者が募集人員に満たない場合には、その欠員分は、一般選抜前期日程の募集人員に加える。
- ・附属高校枠の募集人員の合計は、最大 20 名程度とする（附属高校枠の合格者が募集人員を満たさない場合、空き人員は附属高校以外の県内高校の枠となる）。

8 入学試験実施日程

〔1〕総合型選抜

種別	総合型選抜
学部	国際文化学部 社会福祉学部 看護栄養学部
出願期間	9月4日（金）～14日（月）
試験日	一次選抜：書類選考 二次選抜：10月10日（土） ※二次選抜は一次選抜合格者のみに実施します。
合格発表	一次選抜：9月30日（水） 二次選抜：11月1日（日）
入学締切日 入学手続日	11月13日（金）

（注）合格しなかった場合、学校推薦型選抜又は一般選抜を受験しようとする者は、改めて令和9年度学校推薦型選抜又は一般選抜の出願手続を行うこと。

〔2〕学校推薦型選抜

種別	学校推薦型選抜	
	県内高校枠	地域貢献人材発掘枠
学部	国際文化学部 社会福祉学部 看護栄養学部	
出願期間	11月4日（水）～13日（金）	
試験日	11月28日（土）	11月29日（日）
合格発表	12月7日（月） 所属又は出身学校長 （高等学校長等）にも通知	
入学締切日 入学手続日	12月18日（金）	

（注1）合格しなかった場合、一般選抜を受験しようとする者は、改めて令和9年度一般選抜の出願手続を行うこと。

（注2）山口県立大学附属周防大島高等学校を令和9年3月に卒業見込みの者で、附属高校枠を受験しようとする者は、11月14日（土）にプレゼンテーション試験を受験すること。

〔3〕一般選抜

①前期日程・後期日程

分離・分割方式		
学部	国際文化学部 社会福祉学部 看護栄養学部	
大学共通テスト入学	1 月 16 日（土）・17 日（日）	
種別	前期日程	後期日程
出願期間	1 月 25 日（月）～2 月 3 日（水）	
試験日	2 月 25 日（木）	3 月 12 日（金）
合格発表	3 月 5 日（金）	3 月 20 日（土）
入学締切日 入学手続日	3 月 15 日（月）	3 月 27 日（土）

②外国人留学生

種別	外国人留学生
学部	国際文化学部
出願期間	1 月 25 日（月）～2 月 3 日（水）
試験日	2 月 25 日（木）
合格発表	3 月 5 日（金）
入学締切日 入学手続日	3 月 15 日（月）

9 総合型選抜

〔1〕出願要件

国際文化学部（国際文化学科、文化創造学科、情報社会学科）、看護栄養学部栄養学科は、全国（山口県を含む）の高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部、本学が高等学校と同等の教育を行っていると認める学校（*）及び高等専門学校3年次を令和9年3月に卒業（修了）見込みの者を対象とする。

社会福祉学部社会福祉学科、看護栄養学部看護学科は、全国（山口県を含む）の高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部、本学が高等学校と同等の教育を行っていると認める学校（*）及び高等専門学校3年次を令和8年3月に卒業（修了）した者又は令和9年3月に卒業（修了）見込みの者を対象とする。

*学校教育法施行規則の規定に基づき文部科学大臣が認定又は指定した課程を有し、本学の求める資料を提出できる学校とする。詳細に関しては、入試部門に問い合わせること。

1 総合型選抜《国際文化学部 国際文化学科》				
募 集 人 員	5人			
選 抜 期 日	一次選抜：書類審査 二次選抜(*1)：令和8年10月10日（土）			
選 抜 方 法	一次選抜：書類審査にて選抜する。 二次選抜：講義理解力試験及び面接の結果を総合して選抜する。			
出 願 期 間	令和8年9月4日（金）～9月14日（月）17時《必着》			
出 願 要 件	次の1～4の全てに該当する者 1 全国（山口県を含む）の高等学校等を令和9年3月に卒業（修了）見込みの者 2 次の①または②のいずれかの条件を満たす者 ①調査書の「全体の学習成績の状況」が3.5以上であり、かつ調査書の外国語又は英語の「教科の学習成績の状況」が3.8以上の者 ②英語資格・検定試験の成績がCEFRの基準でB1レベル以上の者(※) 3 国際文化学科に対し、適性を有する者 4 合格した場合は、必ず本学に入学する者			
合 格 発 表 日	一次選抜：令和8年9月30日（水） 二次選抜：令和8年11月1日（日）			
科 目 等	講義理解力試験、面接			
評 価 方 法	評価対象			配点
	一次選抜	・自己推薦書	100	100
	二次選抜(*1)	・講義理解力試験 ・面接「個人面接」(*2)	200 100	300
評 価 基 準	【自己推薦書】 文章の表現力とともに、高校時代に意欲的に取り組んできたこと、またその経験を活かして大学入学後にどのようなことに取り組みたいか、卒業後は社会にどのように貢献したいかという観点から、思考力・判断力・表現力及び主体性を点数化して評価する。 【講義理解力試験】 講義理解力試験では、本学教員が行う模擬講義を受講し、その内容についてレポートを作成する。作成したレポートに基づきプレゼンテーションを行い、レポート及びプレゼンテーションを通して、知識、理解、思考力・判断力・表現力及び主体性を点数化して評価する。 【面接】 個人面接を行い、国際文化学科での学びに必要な思考力・判断力・表現力及び主体性を点数化して評価する。			
合 否 判 定 基 準	一次選抜：自己推薦書の得点で順位を決め、高得点順に一次選抜合格者を決定する。 一次選抜の合格者の上限は、15人程度とする。一次選抜において、得点が同点の場合は、調査書の「全体の学習成績の状況」の数値の高い者を上位とする。 二次選抜：講義理解力試験と面接の得点の合計で順位を決め、高得点順に最終合格者を決定する。二次選抜において、合計点が同点の場合は、面接の得点の高い者を上位とする。			

(*1) 二次選抜は、一次選抜合格者のみに実施する。

(*2) 二次選抜の面接では、調査書及び自己推薦書を参考とするが、評価の対象にはしない。

(※) 出願要件 2 ②の CEFR 「B1」 レベル以上とは、下表に示す各資格・検定試験のスコア又は基準値以上とする。

資格・検定試験	スコア・基準値	出願時提出書類
英検 (実用英語技能検定)	1950 (ただし、2 級以上の試験を二次試験まで受験した者に限る)	合格証明書、英検 CSE スコア証明書、個人成績表のいずれか 1 点
GTEC (4 技能版)	930	「GTEC」 OFFICIAL SCORE CERTIFICATE
TEAP (4 技能版)	225	成績表 (スコアレポート)
TEAP CBT	420	成績表 (スコアレポート)
ケンブリッジ英語検定	140、または PET (B1 Preliminary) 以上の認定	認定証、結果ステートメントのいずれか 1 点
IELTS	4. 0	成績証明書

・表中の資格・検定試験については、出願期間初日から遡って 2 年以内に受験したものに限りません。

・各資格・検定試験の 4 技能全て受験する必要があります。

・スコアを基準としているものについては、合否は問いません。

1 総合型選抜《国際文化学部 文化創造学科》				
募 集 人 員	5 人			
選 抜 期 日	一次選抜：書類審査 二次選抜(*1)：令和8年10月10日（土）			
選 抜 方 法	一次選抜：書類審査にて選抜する。 二次選抜：個人プレゼンテーション及び面接の結果を総合して選抜する。			
出 願 期 間	令和8年9月4日（金）～9月14日（月）17時《必着》			
出 願 要 件	次の1～4の全てに該当する者 1 全国（山口県を含む）の高等学校等を令和9年3月に卒業（修了）見込みの者 2 調査書の国語、外国語又は英語、地理歴史、芸術(*2)、数学、情報(*3)の中で、「教科の学習成績の状況」が3.7以上の教科が2教科以上ある者 3 文化創造学科に対し、適性を有する者 4 合格した場合は、必ず本学に入学する者			
合 格 発 表 日	一次選抜：令和8年9月30日（水） 二次選抜：令和8年11月1日（日）			
科 目 等	個人プレゼンテーション、面接			
評 価 方 法	評価対象			配点
	一次選抜	・ 自己推薦書	100	100
	二次選抜(*1)	・ 個人プレゼンテーション	200	300
		・ 面接「個人面接」(*4)	100	
評 価 基 準	【自己推薦書】 文章の表現力とともに、高校時代に意欲的に取り組んできたこと、またその経験を活かして大学入学後にどのようなことに取り組みたいか、卒業後は社会にどのように貢献したいかという観点から、思考力、判断力、表現力及び主体性を点数化して評価する。 【個人プレゼンテーション】 与えられた課題（文章、図表等も含む）について、その内容を理解し、自らの考えをまとめた発表資料（文章及び絵図など）を作成し、その資料に基づいてプレゼンテーションを行う。発表資料及びプレゼンテーションを通して、知識・理解、思考力、判断力、表現力及び主体性を点数化して評価する。 【面接】 個人面接を行い、地域文化を創造する上で求められる意欲や思考力、表現力を点数化して評価する。			
合 否 判 定 基 準	一次選抜：自己推薦書の得点で順位を決め、高得点順に一次選抜合格者を決定する。 一次選抜の合格者の上限は、24人程度とする。一次選抜において、得点が同点の場合は、調査書の「全体の学習成績の状況」の数値の高い者を上位とする。 二次選抜：個人プレゼンテーションと面接の得点の合計で順位を決め、高得点順に最終合格者を決定する。二次選抜において、合計点が同点の場合は、面接の得点の高い者を上位とする。			

(*1) 二次選抜は、一次選抜合格者のみに実施する。

(*2) 「芸術」が開設されていない場合は、「美術」又は「音楽」を採用する。

(*3) 「情報」の科目を他の教科の科目によって代替しており、かつ、調査書に「情報」の「教科の学習成績の状況」が記載されない場合は、代替科目の「科目の学習成績の状況」を採用する。なお、共通教科「情報」と専門教科「情報」のいずれも開設している場合は、成績の良い教科を採用する。

(*4) 二次選抜の面接では、調査書及び自己推薦書を参考とするが、評価の対象にはしない。

1 総合型選抜《国際文化学部 情報社会学科》				
募 集 人 員	5 人			
選 抜 期 日	一次選抜：書類審査 二次選抜(*1)：令和8年10月10日（土）			
選 抜 方 法	一次選抜：書類審査にて選抜する。 二次選抜：講義理解力試験及び面接の結果を総合して選抜する。			
出 願 期 間	令和8年9月4日（金）～9月14日（月）17時《必着》			
出 願 要 件	次の1～4の全てに該当する者 1 全国（山口県を含む）の高等学校等を令和9年3月に卒業（修了）見込みの者 2 調査書の「全体の学習成績の状況」が3.5以上の者 3 情報社会学科に対し、適性を有する者 4 合格した場合は、必ず本学に入学する者			
合 格 発 表 日	一次選抜：令和8年9月30日（水） 二次選抜：令和8年11月1日（日）			
科 目 等	講義理解力試験、面接			
評 価 方 法	評価対象			配点
	一次選抜	・ 自己推薦書		100 100
	二次選抜(*1)	・ 講義理解力試験 ・ 面接「個人面接」(*2)		200 300 100
評 価 基 準	【自己推薦書】 文章の表現力とともに、高校時代に意欲的に取り組んできたこと、またその経験を活かして大学入学後にどのようなことに取り組みたいか、卒業後は社会にどのように貢献したいかという観点から、思考力・判断力・表現力及び主体性を点数化して評価する。 【講義理解力試験】 講義理解力試験では、本学教員が行う模擬講義を受講し、その内容についてレポートを作成する。作成したレポートに基づきプレゼンテーションを行い、レポート及びプレゼンテーションを通して、知識、理解、思考力・判断力・表現力及び主体性を点数化して評価する。 【面接】 個人面接を行い、情報社会学科での学びに必要な思考力・判断力・表現力及び主体性を点数化して評価する。			
合 否 判 定 基 準	一次選抜：自己推薦書の得点で順位を決め、高得点順に一次選抜合格者を決定する。 一次選抜の合格者の上限は、15人程度とする。一次選抜において、得点が同点の場合は、調査書の「全体の学習成績の状況」の数値の高い者を上位とする。 二次選抜：講義理解力試験と面接の得点の合計で順位を決め、高得点順に最終合格者を決定する。二次選抜において、合計点が同点の場合は、面接の得点の高い者を上位とする。			

(*1) 二次選抜は、一次選抜合格者のみに実施する。

(*2) 二次選抜の面接では、調査書及び自己推薦書を参考とするが、評価の対象にはしない。

1 総合型選抜《社会福祉学部 社会福祉学科》				
募 集 人 員	9 人			
選 抜 期 日	一次選抜：書類審査 二次選抜(*1)：令和8年10月10日（土）			
選 抜 方 法	一次選抜：書類審査にて選抜する。 二次選抜：個人プレゼンテーション及び面接の結果を総合して選抜する。			
出 願 期 間	令和8年9月4日（金）～9月14日（月）17時《必着》			
出 願 要 件	次の1～4の全てに該当する者 1 全国（山口県を含む）の高等学校等を令和8年3月に卒業（修了）した者及び 令和9年3月に卒業（修了）見込みの者 2 調査書の国語、地理歴史又は公民の「教科の学習成績の状況」がいずれも3.5以上の者 3 社会福祉学科に対し、適性を有する者 4 合格した場合は、必ず本学に入学する者			
合 格 発 表 日	一次選抜：令和8年9月30日（水） 二次選抜：令和8年11月1日（日）			
科 目 等	個人プレゼンテーション、面接			
評 価 方 法	評価対象			配点
	一次選抜	・自己推薦書	100	100
	二次選抜(*1)	・個人プレゼンテーション	100	300
		・面接「個人面接」(*2)	200	
評 価 基 準	【自己推薦書】(*3) 文章の表現力とともに、高校時代に地域貢献活動等に意欲的に取り組んできたこと、またその経験を活かして大学入学後にどのようなことに取り組みたいか、卒業後は地域共生社会の実現にどのように貢献したいかという観点から、思考力・判断力・表現力及び主体性を点数化して評価する。 【個人プレゼンテーション】 提示された課題に対し、その内容を理解し、自らの考えをまとめ、個人プレゼンテーションを行う。個人プレゼンテーションを通して、知識・理解、思考力・判断力・表現力及び主体性を点数化して評価する。 【面接】 個人面接では、質問への対応能力・表現力から、社会福祉を学ぶ意欲、コミュニケーション能力及び論理的思考力を点数化して評価する。			
合 否 判 定 基 準	一次選抜：自己推薦書の得点で順位を決め、高得点順に一次選抜合格者を決定する。 一次選抜の合格者の上限は、18人程度とする。 二次選抜：個人プレゼンテーションと面接の得点の合計で順位を決め、高得点順に最終合格者を決定する。二次選抜において、合計点が同点の場合は、面接の得点の高い者を上位とする。			

(*1) 二次選抜は、一次選抜合格者のみに実施する。

(*2) 二次選抜の面接では、調査書、自己推薦書及び個人プレゼンテーションの内容を面接時の参考とするが、評価の対象にはしない。

(*3) 自己推薦書の 1 枚目：自己アピール(1)には、高校時代の地域貢献活動等について記載すること。地域貢献活動等とは、ボランティア活動や部活動による社会貢献活動だけでなく、「総合的な探求の時間」における地域課題解決にかかわる学習活動も含む。

自己推薦書の 2 枚目：自己アピール(2)には、地域共生社会の実現について記載すること。

1 総合型選抜《看護栄養学部 看護学科》					
募 集 人 員	4 人				
選 抜 期 日	一次選抜：書類審査 二次選抜(*1)：令和8年10月10日（土）				
選 抜 方 法	一次選抜：書類審査にて選抜する。 二次選抜：個人プレゼンテーション及び面接の結果を総合して選抜する。				
出 願 期 間	令和8年9月4日（金）～9月14日（月）17時《必着》				
出 願 要 件	次の1～4の全てに該当する者 1 全国（山口県を含む）の高等学校等を令和8年3月に卒業（修了）した者及び 令和9年3月に卒業（修了）見込みの者 2 調査書の「全体の学習成績の状況」が3.8以上、かつ英語資格・検定試験の成績が CEFRの基準でA2レベル以上の者(※) 3 看護学科に対し、適性を有する者 4 合格した場合は、必ず本学に入学する者				
合 格 発 表 日	一次選抜：令和8年9月30日（水） 二次選抜：令和8年11月1日（日）				
科 目 等	個人プレゼンテーション、面接				
評 価 方 法	評価対象			配点	
	一次選抜	・自己推薦書		100	100
	二次選抜(*1)	・個人プレゼンテーション ・面接「個人面接」(*2)		200 100	300
評 価 基 準	【自己推薦書】 高校時代の正課及び正課外学習の成果とそれによって得られた自分の強みについて、また具体的な取り組み過程を根拠として示すという観点から、思考力・判断力・表現力、主体性、協調性を点数化して評価する。 【個人プレゼンテーション】 出題された課題について、一定時間で自らの考えをまとめ発表する。プレゼンテーション資料の作成は求めない。プレゼンテーションを通して、知識・技能、思考力・判断力・表現力を点数化して評価する。 【面接】 個人面接を行い、志望理由及び看護職への興味・関心・動機等を中心とした質問に対する対応能力を通して、態度、理解力、判断力・表現力、主体性、社会性及び協調性に注目し、看護学を学ぶ意欲、対人関係能力、適性等を点数化して評価する。				
合 否 判 定 基 準	一次選抜：自己推薦書の得点で順位を決め、高得点順に一次選抜合格者を決定する。 一次選抜の合格者の上限は、16人程度とする。 二次選抜：個人プレゼンテーションと個人面接の得点の合計で順位を決め、高得点順に最終合格者を決定する。二次選抜の合格基準は、合計得点率が50%以上あること。 二次選抜において、合計点が同点の場合は、個人プレゼンテーションの得点の高い者を上位とする。				

(*1) 二次選抜は、一次選抜合格者のみに実施する。

(*2) 二次選抜の面接では、調査書及び自己推薦書を参考とするが、評価の対象にはしない。

(※) 出願要件 2 の CEFR「A2」レベル以上とは、下表に示す各資格・検定試験のスコア又は基準値以上とする。

資格・検定試験	スコア・基準値	出願時提出書類
英検 (実用英語技能検定)	1700 (ただし、準 2 級以上の試験を二次試験 まで受験した者に限る)	合格証明書、英検 CSE スコア証明書、個人 成績表のいずれか 1 点
GTEC (4 技能版)	680	「GTEC」 OFFICIAL SCORE CERTIFICATE
TEAP (4 技能版)	135	成績表 (スコアレポート)
TEAP CBT	235	成績表 (スコアレポート)
ケンブリッジ英語検定	120、または KET (A2 Key) 以上の認定	認定証、結果ステートメントのいずれか 1 点
IELTS	3.0	成績証明書

・表中の資格・検定試験については、出願期間初日から遡って 2 年以内に受験したものに限りません。

・各資格・検定試験の 4 技能全て受験する必要があります。

・スコアを基準としているものについては、合否は問いません。

1 総合型選抜《看護栄養学部 栄養学科》				
募 集 人 員	2 人			
選 抜 期 日	一次選抜：書類審査 二次選抜(*1)：令和8年10月10日（土）			
選 抜 方 法	一次選抜：書類審査にて選抜する。 二次選抜：個人プレゼンテーション及び面接の結果を総合して選抜する。			
出 願 期 間	令和8年9月4日（金）～9月14日（月）17時《必着》			
出 願 要 件	次の1～4の全てに該当する者 1 全国（山口県を含む）の高等学校等を令和9年3月に卒業（修了）見込みの者 2 調査書の「全体の学習成績の状況」が3.8以上の者 3 栄養学科に対し、適性を有する者 4 合格した場合は、必ず本学に入学する者			
合 格 発 表 日	一次選抜：令和8年9月30日（水） 二次選抜：令和8年11月1日（日）			
科 目 等	個人プレゼンテーション、面接			
評 価 方 法	評価対象			配点
	一次選抜	・自己推薦書	100	100
	二次選抜(*1)	・個人プレゼンテーション ・面接「個人面接」(*2)	200 100	300
評 価 基 準	【自己推薦書】 文章の表現力とともに、高校時代に意欲的に取り組んできたこと、またその経験を活かして大学入学後にどのようなことに取り組みたいか、卒業後は社会にどのように貢献したいかという観点から、思考力・判断力・表現力及び主体性を点数化して評価する。 【個人プレゼンテーション】 提示された課題に対し、その内容を理解し、自らの考えをまとめ、個人プレゼンテーションを行う。個人プレゼンテーションを通して、知識・技能、思考力・判断力・表現力を点数化して評価する。 【面接】 個人面接を行い、食と栄養について学ぶうえで必要な思考力・判断力・表現力及び協調性を点数化して評価する。			
合 否 判 定 基 準	一次選抜：自己推薦書の得点で順位を決め、高得点順に一次選抜合格者を決定する。 一次選抜の合格者の上限は、8人程度とする。 二次選抜：個人プレゼンテーションと面接の得点の合計で順位を決め、高得点順に最終合格者を決定する。 二次選抜において、合計点が同点の場合は、個人プレゼンテーションの得点の高い者を上位とする。			

(*1) 二次選抜は、一次選抜合格者のみに実施する。

(*2) 二次選抜の面接では、調査書及び自己推薦書を参考とするが、評価の対象にはしない。

〔２〕入学前学習

- (1) 合格者には、高校での自己の学修の到達度を把握し大学入学後の履修に役立ててもらうため、大学入学共通テストに出願し、各学科の指定する教科・科目を受験することを推奨する。なお、やむを得ない理由等により大学入学共通テストに出願できなかった場合は、新聞等で発表される試験問題を用いて自宅等で受験すること（その際のリスキングの受験は免除する）。また、受験後に自己採点結果を提出すること。詳細は、合格発表後に合格者に案内する。 その採点結果によって合格を取り消すことはないが、入学後の指導の参考とする場合がある。
- (2) 本学では、総合型選抜の合格者全員を対象に入学前学習（国際文化学部は英語と数学、社会福祉学部及び看護栄養学部看護学科は英語のみ、看護栄養学部栄養学科は英語と化学・生物）を実施している。詳細は、合格発表後に合格者に案内する。

【大学入学共通テストの受験指定教科・科目】

国際文化学部	国際文化学科	・国語 ・地理歴史・公民、数学、理科、情報から選択１科目 ・外国語（英語）
	文化創造学科	・国語 ・地理歴史・公民、数学、理科、情報から選択２科目 ・外国語（英語）
	情報社会学科	・国語 ・地理歴史・公民、数学、理科から選択１科目 ・外国語（英語） ・情報
社会福祉学部 社会福祉学科		・国語 ・地理歴史・公民、数学、理科、情報から選択１科目 ・外国語（英語）
看護栄養学部	看護学科	・国語 ・地理歴史・公民から選択１科目 ・数学、情報から選択１科目 ・理科から選択１科目 ・外国語（英語）
	栄養学科	・国語 ・地理歴史・公民から選択１科目 ・数学、情報から選択１科目 ・理科から選択１科目 ・外国語（英語）

10 学校推薦型選抜

〔１〕県内高校卒

- (1) 県内高校卒は、山口県内に所在地のある高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部、本学が高等学校と同等の教育を行っていると認める学校(*)及び高等専門学校３年次を令和９年３月に卒業（修了）見込みの者を対象とする。

* 学校教育法施行規則の規定に基づき文部科学大臣が認定又は指定した課程を有し、本学の求める資料を提出できる学校とする。詳細に関しては、入試部門に問い合わせること。

- (2) 地域貢献人材発掘卒との併願は認めない。
- (3) １校あたりの推薦人数の制限はない。

1 県内高校枠《国際文化学部 国際文化学科》			
募 集 人 員	16人（*1）		
選 抜 期 日	令和8年11月28日（土）		
選 抜 方 法	書類審査、小論文及び面接（英語面接を含む）の結果を総合して選抜する。		
出 願 期 間	令和8年11月4日（水）～11月13日（金）17時《必着》		
出 願 要 件	次の1～5の全てに該当する者 1 山口県内の高等学校等を令和9年3月に卒業（修了）見込みの者 2 人物・性行等、所属学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者 3 調査書の「全体の学習成績の状況」が3.5以上の者 4 国際文化学科に対し、適性を有する者 5 合格した場合は、必ず本学に入学する者		
推 薦 人 数	1校当たりの人数制限なし		
合 格 発 表 日	令和8年12月7日（月）		
科 目 等	小論文、面接		
評 価 方 法	評価対象		配点
	・小論文	150	300
	・面接「集団面接」（*2）	100	
	・調査書（全体の学習成績の状況）	50	
評 価 基 準	【小論文】 文章の表現力とともに、国内外における社会的・文化的諸問題に関する基礎的知識、理解力、思考力・判断力を点数化して評価する。 【面接】 集団面接（英語面接を含む）を行い、国内外における社会的・文化的諸課題への関心度及びその原因や背景を追求しようとする意欲や態度、異なる文化を持つ人々との交流に必要な思考力・判断力を点数化して評価する。 なお、英語面接では、英語で与えられた質問に対し、英語での応答と自己表現が求められる。 【調査書】 「全体の学習成績の状況」を点数化して評価する。		
合 否 判 定 基 準	小論文及び面接の得点と調査書の評価点との合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、面接の得点が高い者を上位とする。		

（*1）附属高校枠（若干名）を含む。

（*2）面接では、調査書、推薦書及び志望理由書を参考とするが、評価の対象にはしない。

1 県内高校枠《国際文化学部 文化創造学科》			
募 集 人 員	1 4 人 (*1)		
選 抜 期 日	令和8年1 1 月 2 8 日（土）		
選 抜 方 法	書類審査、小論文及び面接の結果を総合して選抜する。		
出 願 期 間	令和8年1 1 月 4 日（水）～1 1 月 1 3 日（金）1 7 時《必着》		
出 願 要 件	次の1～5の全てに該当する者 1 山口県内の高等学校等を令和9年3月に卒業（修了）見込みの者 2 人物・性行等、所属学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者 3 調査書の「全体の学習成績の状況」が3.5以上の者 4 文化創造学科に対し、適性を有する者 5 合格した場合は、必ず本学に入学する者		
推 薦 人 数	1校当たりの人数制限なし		
合 格 発 表 日	令和8年1 2 月 7 日（月）		
科 目 等	小論文、面接		
評 価 方 法	評価対象		配点
	・小論文	200	350
	・面接「集団面接」(*2)	100	
	・調査書（全体の学習成績の状況）	50	
評 価 基 準	【小論文】 日本文化や地域文化の価値について自分の考えをまとめる上での読解力、構成力、論理的思考力、発想力及び表現力を点数化して評価する。 【面接】 集団面接を行い、異なる文化や多様な考えを持つ人々と共に地域文化を創造する上で求められる意欲や思考力、表現力を点数化して評価する。 【調査書】 「全体の学習成績の状況」を点数化して評価する。		
合 否 判 定 基 準	小論文及び面接の得点と調査書の評価点との合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、面接の得点が高い者を上位とする。		

（*1）附属高校枠（若干名）を含む。

（*2）面接では、調査書、推薦書及び志望理由書を参考とするが、評価の対象にはしない。

1 県内高校枠《国際文化学部 情報社会学科》			
募 集 人 員	13人（*1）		
選 抜 期 日	令和8年11月28日（土）		
選 抜 方 法	書類審査、小論文及び面接の結果を総合して選抜する。		
出 願 期 間	令和8年11月4日（水）～11月13日（金）17時《必着》		
出 願 要 件	次の1～5の全てに該当する者 1 山口県内の高等学校等を令和9年3月に卒業（修了）見込みの者 2 人物・性行等、所属学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者 3 調査書の「全体の学習成績の状況」が 3.6 以上の者 4 情報社会学科に対し、適性を有する者 5 合格した場合は、必ず本学に入学する者		
推 薦 人 数	1校当たりの人数制限なし		
合 格 発 表 日	令和8年12月7日（月）		
科 目 等	小論文、面接		
評 価 方 法	評価対象		配点
	・小論文	150	300
	・面接「集団面接」（*2）	100	
	・調査書（全体の学習成績の状況）	50	
評 価 基 準	【小論文】 情報が持つ価値や社会とのさまざまな接点について自分の考えをまとめる上で必要な読解力、分析力、文章の構成力、思考力・表現力を点数化して評価する。 【面接】 集団面接を行い、異なる文化や多様な考えを持つ人々の間に立ち共生を目指す上で求められる意欲や表現力・思考力を点数化して評価する。 【調査書】 「全体の学習成績の状況」を点数化して評価する。		
合 否 判 定 基 準	小論文及び面接の得点と調査書の評価点との合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、面接の得点が高い者を上位とする。		

（*1）附属高校枠（若干名）を含む。

（*2）面接では、調査書、推薦書及び志望理由書を参考とするが、評価の対象にはしない。

1 県内高校枠 《社会福祉学部 社会福祉学科》			
募 集 人 員	28人（*1）		
選 抜 期 日	令和8年11月28日（土）		
選 抜 方 法	書類審査、面接の結果を総合して選抜する。		
出 願 期 間	令和8年11月4日（水）～11月13日（金）17時《必着》		
出 願 要 件	次の1～5の全てに該当する者 1 山口県内の高等学校等を令和9年3月に卒業（修了）見込みの者 2 志望動機が明確であり、社会福祉学科に対する適性を有する者 3 人物・性行等、所属学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者 4 学業成績優秀の者 5 合格した場合は、必ず本学に入学する者		
推 薦 人 数	1校当たりの人数制限なし		
合 格 発 表 日	令和8年12月7日（月）		
科 目 等	面接		
評 価 方 法	評価対象		配点
	・面接「集団ディスカッション・個人面接(*2)」		200
	・調査書（全体の学習成績の状況）		50
評 価 基 準	【面接】 集団ディスカッションと個人面接を行う。 集団ディスカッションでは、意見の論理性、表現力、説得力、洞察力、議論全体を適切にすすめていく態度及び他者とともに語らうことができる能力を点数化して評価する。 個人面接では、質問への対応能力・表現力から、社会福祉を学ぶ意欲、コミュニケーション能力及び論理的思考力を点数化して評価する。 【調査書】 「全体の学習成績の状況」を点数化して評価する。		
合 否 判 定 基 準	面接の得点と調査書の評価点との合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 合計点が同点の場合は、面接の得点が高い者を上位とする。		

(*1) 附属高校枠（若干名）を含む。

(*2) 面接では、調査書、推薦書及び志望理由書を参考とするが、評価の対象にはしない。

1 県内高校枠 《看護栄養学部 看護学科》			
募 集 人 員	22人（*1）		
選 抜 期 日	令和8年11月28日（土）		
選 抜 方 法	書類審査、総合問題及び面接の結果を総合して選抜する。		
出 願 期 間	令和8年11月4日（水）～11月13日（金）17時《必着》		
出 願 要 件	次の1～5の全てに該当する者 1 山口県内の高等学校等を令和9年3月に卒業（修了）見込みの者 2 人物・性等、所属学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者 3 調査書の「全体の学習成績の状況」が3.5以上の者 4 看護学科に対し、適性を有する者 5 合格した場合は、必ず本学に入学する者		
推 薦 人 数	1校当たりの人数制限なし		
合 格 発 表 日	令和8年12月7日（月）		
科 目 等	総合問題、面接		
評 価 方 法	評価対象		配点
	・ 総合問題	250	500
	・ 面接「個人面接」（*2）	200	
	・ 調査書（全体の学習成績の状況）	50	
評 価 基 準	【総合問題】 看護学科で学ぶための必要な学力として、国語（小論文を含み、古文・漢文を除く）の基礎的な学力、読解力、論理的思考力及び表現力並びに英語の基礎的な学力、読解力等をみる問題を出題し、点数化して評価する。 【面接】 個人面接を行い、志望理由及び看護職への興味・関心・動機等を中心とした質問に対する対応能力を通して、態度、理解力、判断力・表現力、主体性、社会性及び協調性に注目し、看護学を学ぶ意欲、対人関係能力、適性等を点数化して評価する。 【調査書】 「全体の学習成績の状況」を点数化して評価する。		
合 否 判 定 基 準	総合問題及び面接の得点と調査書の評価点との合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、面接の得点が高い者を上位とする。		

(*1)附属高校枠（若干名）を含む。

(*2)面接では、調査書、推薦書及び志望理由書を参考とするが、評価の対象にはしない。

1 県内高校枠 《看護栄養学部 栄養学科》			
募 集 人 員	12人（*1）		
選 抜 期 日	令和8年11月28日（土）		
選 抜 方 法	書類審査、面接の結果を総合して選抜する。		
出 願 期 間	令和8年11月4日（水）～11月13日（金）17時《必着》		
出 願 要 件	次の1～5の全てに該当する者 1 山口県内の高等学校等を令和9年3月に卒業（修了）見込みの者 2 人物・性行等、所属学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者 3 調査書の「全体の学習成績の状況」が3.8以上の者 4 栄養学科に対し、適性を有する者 5 合格した場合は、必ず本学に入学する者		
推 薦 人 数	1校当たりの人数制限なし		
合 格 発 表 日	令和8年12月7日（月）		
科 目 等	面接		
評 価 方 法	評価対象	配点	
	・面接「集団ディスカッション・個人面接(*2)」	200	300
	・調査書（全体の学習成績の状況）	100	
評 価 基 準	【面接】 集団ディスカッションと個人面接を行う。 集団ディスカッションでは、論理的思考力・展開力、表現力、協調性・傾聴力、社会性・責任感を点数化して評価する。 個人面接では、志望理由及び食と栄養に携わる専門職への興味・関心・動機等の質問に対する対応能力を通して、食と栄養等に関する知識・技能、さらにこれらの学びを深めていく必要性に関する理解力、思考力・判断力・表現力及び積極性を点数化して評価する。 【調査書】 「全体の学習成績の状況」を点数化して評価する。		
合 否 判 定 基 準	面接の得点と調査書の評価点との合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 合計点が同点の場合は、面接の得点が高い者を上位とする。		

(*1)附属高校枠（若干名）を含む。

(*2)面接では、調査書、推薦書及び志望理由書を参考とするが、評価の対象にはしない。

〔２〕地域貢献人材発掘枠

- (1) 地域貢献人材発掘枠は、全国（山口県を含む）の高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部、本学が高等学校と同等の教育を行っていると認める学校(*)及び高等専門学校３年次を令和９年３月に卒業（修了）見込みの者を対象とする。将来、地域の活力創出や健康づくりに貢献できるリーダーとして、活躍が期待される人材の発掘を目的とする。そのために、学校の内外で意欲的に取り組んだ活動等の過程、成果及び展望を積極的に評価する。

* 学校教育法施行規則の規定に基づき文部科学大臣が認定又は指定した課程を有し、本学の求める資料を提出できる学校とする。詳細に関しては、入試部門に問い合わせること。

- (2) 県内高校枠との併願は認めない。
- (3) １校あたりの推薦人数の制限はない。

2 地域貢献人材発掘枠 《国際文化学部 国際文化学科》			
募 集 人 員	9人		
選 抜 期 日	令和8年11月29日（日）		
選 抜 方 法	書類審査、小論文及び面接（英語面接を含む）の結果を総合して選抜する。		
出 願 期 間	令和8年11月4日（水）～11月13日（金）17時《必着》		
出 願 要 件	次の1～5の全てに該当する者 1 全国（山口県を含む）の高等学校等を令和9年3月に卒業（修了）見込みの者 2 人物・性行等、所属学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者 3 以下のいずれかの条件を満たす者 ①調査書の国語、外国語又は英語、地理歴史、公民の中で、「教科の学習成績の状況」が3.7以上の教科が2教科以上ある者 ②日本以外の国や地域に、小学校入学年齢以降に6カ月以上継続滞在した者 4 国際文化学科に対し、適性を有する者 5 合格した場合は、必ず本学に入学する者		
推 薦 人 数	1校当たりの人数制限なし		
合 格 発 表 日	令和8年12月7日（月）		
科 目 等	小論文、面接		
評 価 方 法	評価対象		配点
	・小論文		150
	・面接「集団面接」(*1)		100
	・調査書（全体の学習成績の状況）		50
	・活動報告書(*2)		100
評 価 基 準	【小論文】 文章の表現力とともに、国内外における社会的・文化的諸問題に関する基礎的知識、理解力、思考力・判断力を点数化して評価する。 【面接】 集団面接（英語面接を含む）を行い、国内外における社会的・文化的諸課題への関心度及び地域の国際化に貢献しようとする意欲や態度、異なる文化を持つ人々との交流に必要な思考力・判断力を点数化して評価する。 なお、英語面接では、英語で与えられた質問に対し、英語での応答と自己表現が求められる。 【調査書】 「全体の学習成績の状況」を点数化して評価する。 【活動報告書】 主体的・協働的な学びの過程とその成果及びそれによって身に付けることができた資質・能力を、入学後の学習にどのように活かすことができるかの展望を点数化して評価する。		
合 否 判 定 基 準	小論文及び面接の得点と調査書及び活動報告書の評価点との合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、面接の得点が高い者を上位とする。		

(*1)面接では、調査書、推薦書及び活動報告書を参考とするが、評価の対象にはしない。

(*2)学校の内外で意欲的に取り組んだ活動（生徒会活動、部活動、ボランティア活動、専門高校の校長会や民間事業者等が実施する資格・検定等、その他生徒が自ら関わってきた諸活動、各種大会・コンクール等、留学・海外経験等、特色ある教育課程を実施する学校における学習活動等）を志願者本人が記載する。

2 地域貢献人材発掘枠 《国際文化学部 文化創造学科》			
募 集 人 員	8人		
選 抜 期 日	令和8年11月29日（日）		
選 抜 方 法	書類審査、小論文、プレゼンテーション及び面接の結果を総合して選抜する。		
出 願 期 間	令和8年11月4日（水）～11月13日（金）17時《必着》		
出 願 要 件	次の1～5の全てに該当する者 1 全国（山口県を含む）の高等学校等を令和9年3月に卒業（修了）見込みの者 2 人物・性行等、所属学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者 3 調査書の国語、外国語又は英語、地理歴史、芸術(*1)の中で、「教科の学習成績の状況」が3.7以上の教科が2教科以上ある者 4 文化創造学科に対し、適性を有する者 5 合格した場合は、必ず本学に入学する者		
推 薦 人 数	1校当たりの人数制限なし		
合 格 発 表 日	令和8年12月7日（月）		
科 目 等	小論文、プレゼンテーション、面接		
評 価 方 法	評価対象		配点
	・小論文		200
	・活動報告書(*2)によるプレゼンテーション		80
	・面接「集団面接」(*3)		100
	・調査書（国語、外国語または英語、地理歴史、芸術(*1)の中で、成績のよい2つの教科の学習成績の状況）		20
評 価 基 準	【小論文】 日本文化や地域文化の価値について自分の考えをまとめる上での読解力、構成力、論理的思考力、発想力及び表現力を点数化して評価する。		
	【活動報告書によるプレゼンテーション】 集団でプレゼンテーションを行い、主体的・協働的な学びの過程とその成果及びそれによって身に付けることができた資質・能力を、入学後の学習にどのように活かすことができるかの展望についての意欲や思考力、表現力を点数化して評価する。		
	【面接】 集団面接を行い、異なる文化や多様な考えを持つ人々と共に地域文化を創造する上で求められる意欲や思考力、表現力を点数化して評価する。		
	【調査書】 国語、外国語又は英語、地理歴史、芸術(*1)の中で、成績のよい2つの教科の「学習成績の状況」を点数化して評価する。		
合 否 判 定 基 準	小論文及び面接の得点と調査書及び活動報告書の評価点との合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、面接の得点が高い者を上位とする。		

(*1)「芸術」が開設されていない場合は、「美術」又は「音楽」を採用する。

(*2)学校の内外で意欲的に取り組んだ活動（生徒会活動、部活動、ボランティア活動、専門高校の校長会や民間事業者等が実施する資格・検定等、その他生徒が自ら関わってきた諸活動、各種大会・コンクール等、留学・海外経験等、特色ある教育課程を実施する学校における学習活動等）を志願者本人が記載する。

(*3)面接では、調査書、推薦書及び活動報告書を参考とするが、評価の対象にはしない。

2 地域貢献人材発掘枠 《国際文化学部 情報社会学科》			
募 集 人 員	7 人		
選 抜 期 日	令和 8 年 1 1 月 2 9 日（日）		
選 抜 方 法	書類審査、小論文及び面接の結果を総合して選抜する。		
出 願 期 間	令和 8 年 1 1 月 4 日（水）～ 1 1 月 1 3 日（金） 1 7 時《必着》		
出 願 要 件	次の 1 ～ 5 の全てに該当する者 1 全国（山口県を含む）の高等学校等を令和 9 年 3 月に卒業（修了）見込みの者 2 人物・性行等、所属学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者 3 調査書の国語、外国語又は英語、数学、情報(*1)の中で、「教科の学習成績の状況」が 3.7 以上の教科が 2 教科以上ある者 4 情報社会学科に対し、適性を有する者 5 合格した場合は、必ず本学に入学する者		
推 薦 人 数	1 校当たりの人数制限なし		
合 格 発 表 日	令和 8 年 1 2 月 7 日（月）		
科 目 等	小論文、面接		
評 価 方 法	評価対象		配点
	・小論文		160
	・面接「集団ディスカッション」		100
	・調査書（国語、外国語又は英語、数学、情報(*1)の中で、成績のよい 2 つの教科の学習成績の状況）		60
	・活動報告書(*2)		80
評 価 基 準	【小論文】 情報が持つ価値や社会とのさまざまな接点について自分の考えをまとめる上で必要な読解力、分析力、文章の構成力、思考力・表現力を点数化して評価する。 【面接】 集団ディスカッションを行い、異なる文化や多様な考えを持つ人々の間に立ち共生を目指す上で求められる意欲や表現力・思考力を点数化して評価する。 【調査書】 国語、外国語又は英語、数学、情報(*1)の中で、成績のよい 2 つの教科の「学習成績の状況」を点数化して評価する。 【活動報告書】 主体的・協働的な学びの過程とその成果及びそれによって身に付けることができた資質・能力を、入学後の学習にどのように活かすことができるかの展望を点数化して評価する。		
合 否 判 定 基 準	小論文及び面接の得点と調査書及び活動報告書の評価点との合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、面接の得点が高い者を上位とする。		

(*1)「情報」の科目を他の教科の科目によって代替しており、かつ、調査書に「情報」の「教科の学習成績の状況」が記載されない場合は、代替科目の「科目の学習成績の状況」を採用する。なお、共通教科「情報」と専門教科「情報」のいずれも開設している場合は、成績の良い教科を採用する。

(*2)学校の内外で意欲的に取り組んだ活動（生徒会活動、部活動、ボランティア活動、専門高校の校長会や民間事業者等が実施する資格・検定等、その他生徒が自ら関わってきた諸活動、各種大会・コンクール等、留学・海外経験等、特色ある教育課程を実施する学校における学習活動等）を志願者本人が記載する。

2 地域貢献人材発掘枠 《社会福祉学部 社会福祉学科》			
募 集 人 員	15人		
選 抜 期 日	令和8年11月29日（日）		
選 抜 方 法	書類審査、面接の結果を総合して選抜する。		
出 願 期 間	令和8年11月4日（水）～11月13日（金）17時《必着》		
出 願 要 件	次の1～5の全てに該当する者 1 全国（山口県を含む）の高等学校等を令和9年3月に卒業（修了）見込みの者 2 志望動機が明確であり、社会福祉学科に対する適性を有する者 3 人物・性行等、所属学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者 4 学業成績優秀の者 5 合格した場合は、必ず本学に入学する者		
推 薦 人 数	1校当たりの人数制限なし		
合 格 発 表 日	令和8年12月7日（月）		
科 目 等	面接		
評 価 方 法	評価対象		配点
	・面接「集団ディスカッション・個人面接(*1)」		200
	・活動報告書(*2)		100
評 価 基 準	【面接】 集団ディスカッションと個人面接を行う。 集団ディスカッションでは、意見の論理性、表現力、説得力、洞察力、議論全体を適切にすすめていく態度及び他者とともに語らうことができる能力を点数化して評価する。 個人面接では、質問への対応能力・表現力から、社会福祉を学ぶ意欲、コミュニケーション能力及び論理的思考力を点数化して評価する。 【活動報告書】 主体的・協働的な学びの過程とその成果及びそれによって身に付けることができた資質・能力を、入学後の学習にどのように活かすことができるかの展望を点数化して評価する。		
合 否 判 定 基 準	面接の得点と活動報告書の評価点との合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 合計点が同点の場合は、面接の得点が高い者を上位とする。		

(*1) 面接では、調査書、推薦書及び活動報告書を参考とするが、評価の対象にはしない。

(*2) 学校の内外で意欲的に取り組んだ活動（生徒会活動、部活動、ボランティア活動、専門高校の校長会や民間事業者等が実施する資格・検定等、その他生徒が自ら関わってきた諸活動、各種大会・コンクール等、留学・海外経験等、特色ある教育課程を実施する学校における学習活動等）を志願者本人が記載する。

2 地域貢献人材発掘枠《看護栄養学部 看護学科》			
募 集 人 員	5 人		
選 抜 期 日	令和 8 年 1 1 月 2 9 日（日）		
選 抜 方 法	書類審査、総合問題及び面接の結果を総合して選抜する。		
出 願 期 間	令和 8 年 1 1 月 4 日（水）～ 1 1 月 1 3 日（金） 1 7 時《必着》		
出 願 要 件	次の 1 ～ 5 の全てに該当する者 1 全国（山口県を含む）の高等学校等を令和 9 年 3 月に卒業（修了）見込みの者 2 人物・性行等、所属学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者 3 調査書の「全体の学習成績の状況」が 3.5 以上の者 4 看護学科に対し、適性を有する者 5 合格した場合は、必ず本学に入学する者		
推 薦 人 数	1 校当たりの人数制限なし		
合 格 発 表 日	令和 8 年 1 2 月 7 日（月）		
科 目 等	総合問題、面接		
評 価 方 法	評価対象		配点
	・ 総合問題	250	450
	・ 面接「個人面接」（*1）	100	
	・ 活動報告書(*2)	100	
評 価 基 準	【総合問題】 看護学科で学ぶための必要な学力として、国語（小論文を含み、古文・漢文を除く）の基礎的な学力、読解力、論理的思考力及び表現力並びに英語の基礎的な学力、読解力等をみる問題を出題し、点数化して評価する。 【面接】 個人面接を行い、志望理由及び看護職への興味・関心・動機等を中心とした質問に対する対応能力を通して、態度、理解力、判断力・表現力、主体性、社会性及び協調性に注目し、看護学を学ぶ意欲、対人関係能力、適性等を点数化して評価する。 【活動報告書】 主体的・協働的な学びの過程とその成果及びそれによって身に付けることができた資質・能力を、入学後の学習にどのように活かすことができるかの展望を点数化して評価する。		
合 否 判 定 基 準	総合問題及び面接の得点と活動報告書の評価点との合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合には、面接の得点が高い者を上位とする。		

(*1) 面接では、調査書、推薦書及び活動報告書を参考とするが、評価の対象にはしない。

(*2) 学校の内外で意欲的に取り組んだ活動（生徒会活動、部活動、ボランティア活動、専門高校の校長会や民間事業者等が実施する資格・検定等、その他生徒が自ら関わってきた諸活動、各種大会・コンクール等、留学・海外経験等、特色ある教育課程を実施する学校における学習活動等）を志願者本人が記載する。

2 地域貢献人材発掘枠 《看護栄養学部 栄養学科》			
募 集 人 員	8人		
選 抜 期 日	令和8年11月29日（日）		
選 抜 方 法	書類審査、面接の結果を総合して選抜する。		
出 願 期 間	令和8年11月4日（水）～11月13日（金）17時《必着》		
出 願 要 件	次の1～6の全てに該当する者 1 全国（山口県を含む）の高等学校等を令和9年3月に卒業（修了）見込みの者 2 人物・性行等、所属学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者 3 物理、化学、生物、地学のうち2科目を履修している者 4 調査書の理科の「教科の学習成績の状況」が4.0以上の者 5 栄養学科に対し、適性を有する者 6 合格した場合は、必ず本学に入学する者		
推 薦 人 数	1校当たりの人数制限なし		
合 格 発 表 日	令和8年12月7日（月）		
科 目 等	面接		
評 価 方 法	評価対象		配点
	・面接「集団ディスカッション・個人面接(*1)」		200
	・活動報告書(*2)		100
評 価 基 準	【面接】 集団ディスカッションと個人面接を行う。 集団ディスカッションでは、論理的思考力・展開力、表現力、協調性・傾聴力、社会性・責任感を点数化して評価する。 個人面接では、志望理由及び食と栄養に携わる専門職への興味・関心・動機等の質問に対する対応能力を通して、食と栄養等に関する知識・技能、さらにこれらの学びを深めていく必要性に関する理解力、思考力・判断力・表現力及び積極性を点数化して評価する。 【活動報告書】 主体的・協働的な学びの過程とその成果及びそれによって身に付けることができた資質・能力を、入学後の学習にどのように活かすことができるかの展望を点数化して評価する。		
合 否 判 定 基 準	面接の得点と活動報告書の評価点との合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 合計点が同点の場合には、面接の得点が高い者を上位とする。		

(*1) 面接では、調査書、推薦書及び活動報告書を参考とするが、評価の対象にはしない。

(*2) 学校の内外で意欲的に取り組んだ活動（生徒会活動、部活動、ボランティア活動、専門高校の校長会や民間事業者等が実施する資格・検定等、その他生徒が自ら関わってきた諸活動、各種大会・コンクール等、留学・海外経験等、特色ある教育課程を実施する学校における学習活動等）を志願者本人が記載する。

〔3〕入学前学習

- (1) 合格者には、高校での自己の学修の到達程度を把握し大学入学後の履修に役立ててもらうため、大学入学共通テストに出願し、各学科の指定する教科・科目を受験することを推奨する。なお、やむを得ない理由等により大学入学共通テストに出願できなかった場合でも、学校推薦型選抜の出願は可能であるが、その場合は、新聞等で発表される試験問題を用いて自宅等で受験すること（その際のリスニングの受験は免除する）。また、受験後に自己採点結果を提出すること。**詳細は、合格発表後に合格者に案内する。**その採点結果によって合格を取り消すことはないが、入学後の指導の参考とする場合がある。
- (2) 本学では、学校推薦型選抜の合格者全員を対象に入学前学習（国際文化学部は英語と数学、社会福祉学部及び看護栄養学部看護学科は英語のみ、看護栄養学部栄養学科は英語と化学・生物）を実施している。**詳細は、合格発表後に合格者に案内する。**

【大学入学共通テストの受験指定教科・科目】

国際文化学部	国際文化学科	・国語 ・地理歴史・公民、数学、理科、情報から選択 1 科目 ・外国語（英語）
	文化創造学科	・国語 ・地理歴史・公民、数学、理科、情報から選択 2 科目 ・外国語（英語）
	情報社会学科	・国語 ・地理歴史・公民、数学、理科から選択 1 科目 ・外国語（英語） ・情報
社会福祉学部 社会福祉学科		・国語 ・地理歴史・公民、数学、理科、情報から選択 1 科目 ・外国語（英語）
看護栄養学部	看護学科	・国語 ・地理歴史・公民から選択 1 科目 ・数学、情報から選択 1 科目 ・理科から選択 1 科目 ・外国語（英語）
	栄養学科	・国語 ・地理歴史・公民から選択 1 科目 ・数学、情報から選択 1 科目 ・理科から選択 1 科目 ・外国語（英語）

11 一般選抜(前期日程・後期日程)

〔1〕出願要件

本学に出願できる者は、次のいずれかに該当する者であり、令和9年度大学入学共通テストで本学の指定する教科・科目を受験していることを要する。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和9年3月修了見込みの者*
*特別支援学校の高等部及び高等専門学校第3年次を修了した方又は令和9年3月修了見込みの方がこれに該当します。
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条に規定する廃止前の大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む）及び令和9年3月31日までに合格見込みの者で、令和9年3月31日までに18歳に達する者
- (8) 本学の定めるところにより、個別の入学資格審査をもって、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学において認めた者で、令和9年3月31日までに18歳に達する者

個別の入学資格審査については、「14 入学資格審査（50 ページ）」を参照すること。

〔2〕出願期間

令和9年1月25日（月）～2月3日（水）17時《必着》

〔3〕 各学科の評価基準・合否判定基準等

(1) 国際文化学部 国際文化学科

《前期日程》

試験区分		教科	科目	必須／選択	配点	
評価方法	大学入学 共通テスト [3教科3科目]	国語	「国語」	必須	250 (※2)	700
		地理歴史・公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」 「歴史総合，世界史探究」「公共，倫理」「公共，政治・経済」 「地理総合／歴史総合／公共」	選択1科目 (※1)	100	
		数学	「数学Ⅰ，数学A」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ，数学B，数学C」			
		理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」			
		情報	「情報Ⅰ」			
		外国語	「英語」	必須	350 (※3)	
	小論文・面接・ 実技検査等	・小論文 ・面接「集団面接」(※4)			200 100	300
	評価基準	【小論文】 文章の表現力とともに、国内外における社会的・文化的諸問題に関する基礎的知識、理解力、思考力・判断力を点数化して評価する。 【面接】 集団面接を行い、国内外における社会的・文化的諸課題への関心度及びその原因や背景を追求しようとする意欲・態度、異なる文化を持つ人々との交流に必要な思考力・判断力を点数化して評価する。				
合否判定基準	大学入学共通テストの得点と小論文及び面接の得点の合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、小論文、大学入学共通テストの外国語「英語」の順に得点が高い者を上位とする。					

《後期日程》

試験区分		教科	科目	必須／選択	配点	
評価方法	大学入学 共通テスト [3教科3科目]	国語	「国語」	必須	250 (※2)	700
		地理歴史 ・公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」 「歴史総合，世界史探究」「公共，倫理」「公共，政治・経済」 「地理総合／歴史総合／公共」	選択1科目 (※1)	100	
		数学	「数学Ⅰ，数学A」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ，数学B，数学C」			
		理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」			
		情報	「情報Ⅰ」			
		外国語	「英語」	必須	350 (※3)	
		小論文・面接・ 実技検査等	・面接「集団面接」(※4)			200
評価基準	【面接】 集団面接を行い、国内外における社会的・文化的諸課題への関心度とその原因や背景について追求しようとする意欲や態度、異なる文化を持つ人々との交流に必要な思考力・判断力・表現力を総合的に評価する。					
合否判定 基準	大学入学共通テストの得点と面接の得点の合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、面接、大学入学共通テストの外国語「英語」の順に得点が高い者を上位とする。					

(※1)指定された教科・科目の範囲内で、必要とする教科・科目数を超えて受験している場合、次の①～③の条件を加えた上で、最も得点の高い科目の得点を採用する。

①地理歴史・公民は1教科とみなす。

②地理歴史・公民から2科目又は理科から2科目受験している場合、得点にかかわらず、第1解答科目の得点をその教科の得点として採用する。

③数学から2科目を受験した場合、得点の高い科目の得点を数学の得点として採用する。

(※2)大学入学共通テストの「国語」(200点)に5/4を乗じたものを得点とする。

(※3)大学入学共通テストの外国語「英語」のリーディング(100点)に5/2を乗じたものとリスニング(100点)の合計を得点とする。
ただし、受験上の配慮により、リスニングを免除された者については、リーディング(100点)の素点に7/2を乗じたものを得点とする。

(※4)面接では、調査書を参考とするが、評価の対象にはしない。

(2) 国際文化学部 文化創造学科

《前期日程》

試験区分		教科	科目	必須／選択	配点	
評価方法	大学入学 共通テスト [4教科4科目又は 3教科4科目]	国語	「国語」	必須	250 (※2)	700
		地理歴史・公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」 「歴史総合，世界史探究」「公共，倫理」「公共，政治・経済」 「地理総合／歴史総合／公共」	選択2科目 (※1)	200	
		数学	「数学Ⅰ，数学A」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ，数学B，数学C」			
		理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」			
		情報	「情報Ⅰ」			
		外国語	「英語」	必須	250 (※3)	
	小論文・面接・ 実技検査等	・小論文			150	200
・面接「集団面接」(※4)			50			
評価基準	【小論文】 日本文化や地域文化の価値について自分の考えをまとめる上での読解力、構成力、論理的思考力、発想力及び表現力を点数化して評価する。 【面接】 集団面接を行い、異なる文化や多様な考えを持つ人々と共に地域文化を創造する上で求められる意欲や思考力、表現力を点数化して評価する。					
合否判定基準	大学入学共通テストの得点と小論文及び面接の得点の合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、面接、小論文の順に得点が高い者を上位とする。					

《後期日程》

試験区分		教科	科目	必須／選択	配点	
評価方法	大学入学 共通テスト [4教科4科目又は 3教科4科目]	国語	「国語」	必須	250 (*2)	700
		地理歴史 ・公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」 「歴史総合，世界史探究」「公共，倫理」「公共，政治・経済」 「地理総合／歴史総合／公共」	選択2科目 (※1)	200	
		数学	「数学Ⅰ，数学A」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ，数学B，数学C」			
		理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」			
		情報	「情報Ⅰ」			
		外国語	「英語」	必須	250 (*3)	
	小論文・面接・ 実技検査等	・面接「個人面接」(*4)			200	200
評価基準	【面接】 個人面接を行い、異なる文化や多様な考えを持つ人々と共に地域文化を創造する上で求められる意欲や思考力、表現力を点数化して評価する。					
合否判定 基準	大学入学共通テストの得点と面接の得点の合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、面接、大学入学共通テストの「国語」の順に得点が高い者を上位とする。					

(*1) 指定された教科・科目の範囲内で、必要とする教科・科目数を超過して受験している場合、次の①～③の条件を加えた上で、最も得点の高い科目から2科目の得点を採用する。

①地理歴史・公民は1教科とみなす。

②地理歴史・公民から2科目又は理科から2科目受験している場合、得点にかかわらず、第1解答科目の得点をその教科の得点として採用する。ただし、地理歴史・公民、数学、理科及び情報の4教科のうち、地理歴史・公民から2科目のみ又は理科から2科目のみを受験し、他の3教科を受験していない場合は、第1解答科目、第2解答科目の得点を共に採用する。

③数学から2科目を受験した場合、得点の高い科目を数学の得点として採用する。ただし、地理歴史・公民、数学、理科及び情報の4教科のうち、数学2科目のみを受験し、他の3教科を受験していない場合は、数学の2科目の得点を共に採用する。

(*2) 大学入学共通テストの「国語」(200点)に5/4を乗じたものを得点とする。

(*3) 大学入学共通テストの外国語「英語」のリーディング(100点)に2を乗じたものとリスニング(100点)に1/2を乗じたものの合計を得点とする。ただし、受験上の配慮により、リスニングを免除された者については、リーディング(100点)の素点に5/2を乗じたものを得点とする。

(*4) 面接では、調査書を参考とするが、評価の対象にはしない。

(3) 国際文化学部 情報社会学科

《前期日程》

試験区分		教科	科目	必須／選択	配点		
評価方法	大学入学 共通テスト [4教科4科目]	国語	「国語」	必須	250 (※2)	700	
		地理歴史 ・公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」 「歴史総合，世界史探究」「公共，倫理」「公共，政治・経済」 「地理総合／歴史総合／公共」	選択1科目 (※1)	100		
			数学				「数学Ⅰ，数学A」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ，数学B，数学C」
			理科				「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」
		情報	「情報Ⅰ」	必須	100		
		外国語	「英語」	必須	250 (※3)		
	小論文・面接・ 実技検査等	・小論文			150	200	
	・面接「集団面接」(※4)			50			
評価基準	【小論文】 情報が持つ価値や社会とのさまざまな接点について自分の考えをまとめる上で必要な読解力、分析力、文章の構成力、思考力・表現力を点数化して評価する。 【面接】 集団面接を行い、異なる文化や多様な考えを持つ人々の間に立ち共生を目指す上で求められる意欲や思考力・表現力を点数化して評価する。						
合否判定 基準	大学入学共通テストの得点と小論文及び面接の得点の合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、面接、小論文の順に得点が高い者を上位とする。						

《後期日程》

試験区分		教科	科目	必須／選択	配点	
評価方法	大学入学 共通テスト [4教科4科目]	国語	「国語」	必須	250 (*2)	700
		地理歴史 ・公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」 「歴史総合，世界史探究」「公共，倫理」「公共，政治・経済」 「地理総合／歴史総合／公共」	選択1科目 (*1)	100	
		数学	「数学Ⅰ，数学A」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ，数学B，数学C」			
		理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」			
		情報	「情報Ⅰ」	必須	100	
		外国語	「英語」	必須	250 (*3)	
		小論文・面接・ 実技検査等	・面接「集団ディスカッション」			200
評価基準	【面接】 集団ディスカッションを通じて、異なる文化や多様な考えを持つ人々の間に立ち共生を目指す上で求められる意欲や思考力・表現力を点数化して評価する。					
合否判定 基準	大学入学共通テストの得点と面接の得点の合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、面接、大学入学共通テストの情報「情報Ⅰ」の順に得点が高い者を上位とする。					

(*1) 指定された教科・科目の範囲内で、必要とする教科・科目数を超えて受験している場合、次の①～③の条件を加えた上で、最も得点の高い科目の得点を採用する。

①地理歴史・公民は1教科とみなす。

②地理歴史・公民から2科目又は理科から2科目受験している場合、得点にかかわらず、第1解答科目の得点をその教科の得点として採用する。

③数学から2科目を受験した場合、得点の高い科目の得点を数学の得点として採用する。

(*2) 大学入学共通テストの「国語」(200点)に5/4を乗じたものを得点とする。

(*3) 大学入学共通テストの外国語「英語」のリーディング(100点)に2を乗じたものとリスニング(100点)に1/2を乗じたものの合計を得点とする。ただし、受験上の配慮により、リスニングを免除された者については、リーディング(100点)の素点に5/2を乗じたものを得点とする。

(*4) 面接では、調査書を参考とするが、評価の対象にはしない。

(4) 社会福祉学部 社会福祉学科

《前期日程》

試験区分		教科	科目	必須／選択	配点	
評価方法	大学入学 共通テスト [3教科3科目]	国語	「国語」	必須	200	600
		地理歴史 ・公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」 「歴史総合，世界史探究」「公共，倫理」「公共，政治・経済」 「地理総合／歴史総合／公共」	選択1科目 (※1)	200 (※2)	
			数学			
		理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」			
		情報	「情報Ⅰ」			
		外国語	「英語」	必須	200 (※3)	
	小論文・面接・ 実技検査等	・面接「集団面接」(※4)			500	500
評価基準	【面接】 集団面接を行い、質問への対応能力・表現力から、社会福祉を学ぶ意欲、コミュニケーション能力及び論理的思考力を点数化して評価する。					
合否判定 基準	大学入学共通テストの得点と面接の得点の合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、面接の得点が高い者を上位とする。					

《後期日程》

試験区分		教科	科目	必須／選択	配点	
評価方法	大学入学 共通テスト [3教科3科目]	国語	「国語」	必須	200	600
		地理歴史 ・公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」 「歴史総合，世界史探究」「公共，倫理」「公共，政治・経済」 「地理総合／歴史総合／公共」	選択1科目 (※1)	200 (※2)	
			数学			
		理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」			
		情報	「情報Ⅰ」			
		外国語	「英語」	必須	200 (※3)	
	小論文・面接・ 実技検査等	・面接「集団ディスカッション・個人面接」(※4)			500	500
評価基準	【面接】 集団ディスカッションと個人面接を行う。 集団ディスカッションでは、意見の論理性、表現力、説得力、洞察力、議論全体を適切にすすめていく態度及び他者とともに語ることができる能力を点数化して評価する。 個人面接では、質問への対応能力・表現力から、社会福祉を学ぶ意欲、コミュニケーション能力及び論理的思考力を点数化して評価する。					
合否判定 基準	大学入学共通テストの得点と面接の得点の合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、面接の得点が高い者を上位とする。					

(※1) 指定された教科・科目の範囲内で、必要とする教科・科目数を超えて受験している場合、次の①～③の条件を加えた上で、最も得点の高い科目の得点を採用する。

①地理歴史・公民は1教科とみなす。

②地理歴史・公民から2科目又は理科から2科目受験している場合、得点にかかわらず、第1解答科目の得点をその教科の得点として採用する。

③数学から2科目を受験した場合、得点の高い科目の得点を数学の得点として採用する。

(※2) 大学入学共通テストの選択科目（100点）に2を乗じたものを得点とする。

(※3) 受験上の配慮により、大学入学共通テストのリスニングを免除された者については、リーディング（100点）の素点に2を乗じたものを得点とする。

(※4) 面接では、調査書を参考とするが、評価の対象にはしない。

(5) 看護栄養学部 看護学科

《前期日程》

試験区分		教科	科目	必須／選択	配点	
評価方法	大学入学 共通テスト [5教科5科目]	国語	「国語」	必須	200	700
		地理歴史・公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」 「歴史総合，世界史探究」「公共，倫理」「公共，政治・経済」 「地理総合／歴史総合／公共」	選択1科目 (※1)	100	
		数学	「数学Ⅰ，数学A」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ，数学B，数学C」	選択1科目 (※1)	100	
		情報	「情報Ⅰ」	選択1科目 (※1)	100	
		理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」	選択1科目 (※1)	100	
	外国語	「英語」	必須	200 (※2)		
	小論文・面接・ 実技検査等	・面接「個人面接」(※3)			200	200
評価基準	【面接】 個人面接を行い、志望理由及び看護職への興味・関心・動機等を中心とした質問に対する対応能力を通して、態度、理解力、判断力・表現力、主体性、社会性及び協調性に注目し、看護学を学ぶ意欲、対人関係能力、適性等を点数化して評価する。					
合否判定基準	大学入学共通テストの得点と面接の得点の合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、面接、大学入学共通テストの外国語「英語」の順に得点が高い者を上位とする。					

《後期日程》

試験区分		教科	科目	必須／選択	配点	
評価方法	大 学 入 学 共通テスト [4教科4科目]	国語	「国語」	必須	200	600
		数学	「数学Ⅰ，数学A」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ，数学B，数学C」	選択1科目 (*1)	100	
		情報	「情報Ⅰ」	選択1科目 (*1)	100	
		理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」	選択1科目 (*1)	100	
		外国語	「英語」	必須	200 (*2)	
	小論文・面接・ 実技検査等	・面接「個人面接」(*3)			300	300
評価基準	【面接】 個人面接を行い、志望理由及び看護職への興味・関心・動機等を中心とした質問に対する対応能力を通して、態度、理解力、判断力・表現力、主体性、社会性及び協調性に注目し、看護学を学ぶ意欲、対人関係能力、適性等を点数化して評価する。					
合否判定 基準	大学入学共通テストの得点と面接の得点の合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、面接、大学入学共通テストの外国語「英語」の順に得点が高い者を上位とする。					

(※1) 指定された教科・科目の範囲内で、必要とする教科・科目数を超えて受験している場合、次の①～③の条件を加えた上で、最も得点の高い科目の得点を採用する。

①地理歴史・公民は1教科とみなす。

②地理歴史・公民から2科目又は理科から2科目受験している場合、得点にかかわらず、第1解答科目の得点をその教科の得点として採用する。

③数学から2科目を受験した場合、得点の高い科目の得点を数学の得点として採用する。

(※2) 受験上の配慮により、大学入学共通テストのリスニングを免除された者については、リーディング（100点）の素点に2を乗じたものを得点とする。

(※3) 面接では、調査書を参考とするが、評価の対象にはしない。

(6) 看護栄養学部 栄養学科

《前期日程》

試験区分		教科	科目	必須／選択	配点	
評価方法	大学入学 共通テスト [5教科5科目]	国語	「国語」	必須	200	700
		地理歴史 ・公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」	選択1科目 (※1)	100	
			「歴史総合，世界史探究」「公共，倫理」「公共，政治・経済」			
			「地理総合／歴史総合／公共」			
		数学	「数学Ⅰ，数学A」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ，数学B，数学C」	選択1科目 (※1)	100	
		情報	「情報Ⅰ」	選択1科目 (※1)	100	
	理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」				
	外国語	「英語」	必須	200 (※3)		
	小論文・面接・ 実技検査等	・面接「集団面接」(※4)			100	100
評価基準	【面接】 集団面接を行い、志望理由及び勉学への興味等について論理的に分かりやすく伝える力を点数化して評価する。					
合否判定 基準	大学入学共通テストの得点と面接の得点の合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、大学入学共通テストの総得点、「国語」、外国語「英語」の順に得点が高い者を上位とする。					

《後期日程》

--		教科	科目	必須／選択	配点	
評価方法	大学入学 共通テスト [5教科5科目]	国語	「国語」	必須	200	800
		地理歴史 ・公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」 「歴史総合，世界史探究」「公共，倫理」「公共，政治・経済」 「地理総合／歴史総合／公共」	選択1科目 (※1)	100	
			数学	「数学Ⅰ，数学A」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ，数学B，数学C」	選択1科目 (※1)	
		情報	「情報Ⅰ」	選択1科目 (※1)	150 (※2)	
		理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」	選択1科目 (※1)	150 (※2)	
		外国語	「英語」	必須	200 (※3)	
		小論文・面接・ 実技検査等	・面接「集団面接」(※4)			200
評価基準	【面接】 集団面接を行い、志望理由及び健康科学への興味等について論理的に分かりやすく伝える力を点数化して評価する。					
合否判定 基準	大学入学共通テストの得点と面接の得点の合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、大学入学共通テストの総得点、「国語」、外国語「英語」の順に得点が高い者を上位とする。					

(※1) 指定された教科・科目の範囲内で、必要とする教科・科目数を超えて受験している場合、次の①～③の条件を加えた上で、最も得点の高い科目の得点を採用する。

①地理歴史・公民は1教科とみなす。

②地理歴史・公民から2科目又は理科から2科目受験している場合、得点にかかわらず、第1解答科目の得点をその教科の得点として採用する。

③数学から2科目を受験した場合、得点の高い科目の得点を数学の得点として採用する。

(※2) 大学入学共通テストの選択科目（100点）に3/2を乗じたものを得点とする。

(※3) 受験上の配慮により、大学入学共通テストのリスニングを免除された者については、リーディング（100点）の素点に2を乗じたものを得点とする。

(※4) 面接では、調査書を参考とするが、評価の対象にはしない。

【参考】一般選抜における大学入学共通テストの教科・科目選択について

1) ■国際文化学部 国際文化学科・情報社会学科

■社会福祉学部 社会福祉学科

■看護栄養学部 看護学科・栄養学科

指定された教科・科目の範囲内で、必要とする教科・科目数を超えて受験している場合、次の①～③の条件を加えた上で、最も得点の高い科目の得点を採用する。

①地理歴史・公民は1教科とみなす。

②地理歴史・公民から2科目又は理科から2科目受験している場合、得点にかかわらず、第1解答科目の得点をその教科の得点として採用する。

③数学から2科目を受験した場合、得点の高い科目の得点を数学の得点として採用する。

【国際文化学科の例（3教科3科目）】

教科	科目	大学指定	得点	採否	結果	備考
国語	「国語」	必須	160	○	200	得点に5/4を乗じたもの
地歴 公民	第1解答科目	選択 1科目	a 70			
	第2解答科目		90	×		②により除外する
数学	数学①から1科目		50	×		③により除外する
	数学②から1科目		b 60			
理科	第1解答科目		c 40			
	第2解答科目		60	×		②により除外する
情報	「情報Ⅰ」		d 80	○	80	a～dで最も得点の高い科目
外国語	「英語」リーディング	必須	60	○	150	得点に5/2を乗じたもの
	「英語」リスニング		80	○	80	
合計					510	

2) ■国際文化学部 文化創造学科のみ

指定された教科・科目の範囲内で、必要とする教科・科目数を超えて受験している場合、次の①～③の条件を加えた上で、最も得点の高い科目から2科目の得点を採用する。

①地理歴史・公民は1教科とみなす。

②地理歴史・公民から2科目又は理科から2科目受験している場合、得点にかかわらず、第1解答科目の得点をその教科の得点として採用する。ただし、地理歴史・公民、数学、理科及び情報の4教科のうち、地理歴史・公民から2科目のみ又は理科から2科目のみを受験し、他の3教科を受験していない場合は、第1解答科目、第2解答科目の得点を共に採用する。

③数学から2科目を受験した場合、得点の高い科目を数学の得点として採用する。ただし、地理歴史・公民、数学、理科及び情報の4教科のうち、数学2科目のみを受験し、他の3教科を受験していない場合は、数学の2科目の得点を共に採用する。

【文化創造学科（4教科4科目（基本））の例】

教科	科目	指定	得点	採否	結果	備考
国語	「国語」	必須	160	○	200	得点に5/4を乗じたもの
地歴 公民	第1解答科目	選択 2科目	a 85			
	第2解答科目		90	×		②により除外する
数学	数学①から1科目		b 95	○	95	a～dで最も得点の高い科目
	数学②から1科目		88	×		③により除外する
理科	第1解答科目		c 90	○	90	a～dで2番目に得点の高い科目
	第2解答科目		40	×		②により除外する
情報	「情報Ⅰ」		d 60			
外国語	「英語」リーディング	必須	60	○	120	得点に2を乗じたもの
	「英語」リスニング		80	○	40	得点に1/2を乗じたもの
合計					545	

【文化創造学科（3教科4科目）の例】

教科	科目	指定	得点	採否	結果	備考
国語	「国語」	必須	160	○	200	得点に5/4を乗じたもの
地歴 公民	第1解答科目	選択 2科目	85	○	85	
	第2解答科目		90	○	90	②により採用する (他の教科を受験していない)
数学	数学①から1科目					
	数学②から1科目					
理科	第1解答科目					
	第2解答科目					
情報	「情報Ⅰ」					
外国語	「英語」リーディング	必須	60	○	120	得点に2を乗じたもの
	「英語」リスニング		80	○	40	得点に1/2を乗じたもの
合計					535	

12 一般選抜（外国人留学生）

1 外国人留学生《国際文化学部 国際文化学科》	
募 集 人 員	若干名
選 抜 期 日	2027年2月25日（木）
評 価 方 法	書類審査、日本留学試験（日本語、総合科目）（*1）、小論文（*2）及び個人面接の結果を総合して評価する。
出 願 期 間	2027年1月25日（月）～2月3日（水）17時《必着》
出 願 要 件	2027年4月1日現在で次の1及び2の要件を満たす者であって、出願時までに日本語能力試験（JLPT）を受験し、N2以上又は日本語教育の参照枠B2以上（*3）を取得している者 1 日本国籍を有さない者で、大学において教育を受ける目的を持って入国し本学に入学しようとする者 2 次のいずれかに該当する者 （1）外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者 （2）文部科学大臣の指定した者
合 格 発 表 日	2027年3月5日（金）
科 目 等	小論文、面接
評 価 基 準	【小論文】 国際文化学科で学ぶために必要な日本語による文章の表現力とともに、世界の社会的・文化的諸問題に関する基礎的知識や理解力及びその原因や背景について追求しようとする意欲や態度を点数化して評価する。 【面接】 個人面接を行い、国際文化学科で外国語を学ぶための適性と実践的日本語・英語コミュニケーション能力、世界の社会的・文化的諸課題への関心度と、その原因や背景を追求しようとする意欲や態度を総合的に評価する。 【日本留学試験】 日本留学試験の結果により、日本の大学で学ぶ基礎学力を評価する。
合 否 判 定 基 準	小論文の点数、面接の評価、日本留学試験の結果を総合的に評価して判定する。

（*1）2025年度（6月・11月）、2026年度（6月・11月）に実施された日本留学試験の成績を利用できる。日本留学試験の出題言語は、日本語とする。

（*2）日本語での出題

（*3）2025年度（12月）以降に実施された日本語能力試験（JLPT）の受験者が対象。

1 外国人留学生 《国際文化学部 文化創造学科》	
募 集 人 員	若干名
選 抜 期 日	2027年2月25日（木）
評 価 方 法	書類審査、日本留学試験（日本語、総合科目）(*1)、小論文(*2)及び個人面接の結果を総合して評価する。
出 願 期 間	2027年1月25日（月）～2月3日（水）17時《必着》
出 願 要 件	2027年4月1日現在で次の1及び2の要件を満たす者であって、出願時までに日本語能力試験(JLPT)を受験し、N2以上又は日本語教育の参照枠B2以上(*3)を取得している者 1 日本国籍を有さない者で、大学において教育を受ける目的を持って入国し本学に入学しようとする者 2 次のいずれかに該当する者 (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者 (2) 文部科学大臣の指定した者
合 格 発 表 日	2027年3月5日（金）
科 目 等	小論文、面接
評 価 基 準	【小論文】 文化創造学科で学ぶための日本語による読解力、構成力、論理的思考力、発想力、表現力を評価する。 【面接】 個人面接を行い、文化創造学科で学ぶための論理的思考力、発想力、表現力、意欲・積極性、コミュニケーション能力を評価する。 【日本留学試験】 日本留学試験の結果により、日本の大学で学ぶ基礎学力を評価する。
合 否 判 定 基 準	小論文の点数、面接の評価、日本留学試験の結果を総合的に評価して判定する。

(*1)2025年度（6月・11月）、2026年度（6月・11月）に実施された日本留学試験の成績を利用できる。日本留学試験の出題言語は、日本語とする。

(*2)日本語での出題

(*3)2025年度（12月）以降に実施された日本語能力試験（JLPT）の受験者が対象。

1 外国人留学生 《国際文化学部 情報社会学科》	
募 集 人 員	若干名
選 抜 期 日	2027年2月25日（木）
評 価 方 法	書類審査、日本留学試験（日本語、総合科目）(*1)、小論文(*2)及び個人面接の結果を総合して評価する。
出 願 期 間	2027年1月25日（月）～2月3日（水）17時《必着》
出 願 要 件	2027年4月1日現在で次の1及び2の要件を満たす者であって、出願時までに日本語能力試験(JLPT)を受験し、N2以上又は日本語教育の参照枠B2以上(*3)を取得している者 1 日本国籍を有さない者で、大学において教育を受ける目的を持って入国し本学に入学しようとする者 2 次のいずれかに該当する者 (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者 (2) 文部科学大臣の指定した者
合 格 発 表 日	2027年3月5日（金）
科 目 等	小論文、面接
評 価 基 準	【小論文】 情報社会学科で学ぶための日本語による読解力、構成力、論理的思考力、発想力、表現力を評価する。 【面接】 個人面接を行い、情報社会学科で学ぶための論理的思考力、発想力、表現力、意欲・積極性、コミュニケーション能力を評価する。 【日本留学試験】 日本留学試験の結果により、日本の大学で学ぶ基礎学力を評価する。
合 否 判 定 基 準	小論文の点数、面接の評価、日本留学試験の結果を総合的に評価して判定する。

(*1)2025年度（6月・11月）、2026年度（6月・11月）に実施された日本留学試験の成績を利用できる。日本留学試験の出題言語は、日本語とする。

(*2)日本語での出題

(*3)2025年度（12月）以降に実施された日本語能力試験（JLPT）の受験者が対象。

13 障害等のある入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、障害等がある者は、受験上及び修学上特別な配慮を要することがありますので、出願の前にあらかじめ本学に申し出てください。

なお、事前相談は受験生の負担軽減や、他の受験生に比べて不利にならないよう配慮するために行うものであり、相談することにより受験生に不利益を与えるものではありません。

1 相談の時期

- (1) 総合型選抜志願者 令和8(2026)年8月18日(火)まで
 - (2) 学校推薦型選抜志願者 令和8(2026)年10月9日(金)まで
 - (3) 一般選抜志願者 令和9(2027)年1月22日(金)まで
- 受付時間は、9時から17時までとします。

2 相談の方法

相談に当たっては、次の内容を記載した事前相談書(様式自由)を提出してください。

必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身高等学校関係者等との面談を行います。

- (1) 氏名、生年月日、連絡先及び所属(出身)高等学校等名
- (2) 出願を希望する試験種別及び学部・学科
- (3) 障害の種類・程度(医師の診断書を添付すること)
- (4) 受験上及び修学上希望する具体的措置
- (5) 高等学校等における生活状況等(主として授業関係)
- (6) その他参考となる事項

14 入学資格審査

山口県立大学へ学校教育法施行規則第 150 条第 7 号の規定により出願する者については、事前に個別の入学資格審査を受け、入学資格を認められた場合に限り出願を認めます。入学資格審査は、次により実施します。

1 申請期限及び申請書類の提出先等

個別の入学資格審査により、一般選抜の入学資格の認定を受けようとする者の申請期限は令和 9 年 1 月 22 日（金）（必着）です。

受付時間は、9 時から 17 時までとします。ただし、土曜日、日曜日及び祝日は受け付けません。申請書類を郵送する場合は、必ず「簡易書留速達」郵便により申請期限までに必ず届くよう郵送期間を十分考慮して、封筒表面に「大学入学資格認定交付申請」と朱書して発送してください。ただし、申請期限後に到着したもので、申請期限の前日以前の発信局消印のある「簡易書留速達」に限り、受け付けます。

また、返信用封筒（長形 3 号（縦 23.5cm×横 12cm）に本人の氏名・住所・郵便番号を明記し、460 円分の切手（※）を貼付したものを）を同封してください。なお、持参する場合も上記の返信用封筒が必要になります。

※郵便料金が値上げされた場合、指定の金額分の切手

提出先

〒753-8502 山口県山口市桜島 6 丁目 2 番 1 号
山口県立大学 学生部入試部門
電話 083-929-6503（直通）
083-929-6600（代表）

2 入学資格審査の対象者

入学資格審査の対象者は、大学入学資格を有しない者で、令和 9 年 3 月 31 日までに 18 歳に達し、次のいずれかに該当する者としします。

- (1) 高等学校段階を有する外国人学校を卒業した者及び卒業見込みの者
- (2) 各種の学校等における学習歴及び社会における実務経験等が、高等学校卒業と同等以上であることを客観的に確認できる者

3 申請手続

次の書類を取り揃えて申請してください。

- (1) 上記 2 の(1)に該当する者

ア 入学資格認定審査申請書及び学習歴等の調書（本学所定の様式。本学の Web ページからダウンロードして使用してください）

イ 当該学校の教育が 12 年の課程であることを証明できるもの

ウ 当該学校の教育内容等を証明できるもの

エ 卒業証明書又は卒業見込み証明書

※ イ及びウについては不要場合があります。

(2) 上記 2 の(2)に該当する者

ア 入学資格認定審査申請書及び学習歴等の調書（本学所定の様式。本学の Web ページからダウンロードして使用してください）

イ 各種の学校等における学習歴及び社会における実務経験等が高等学校卒業と同等以上であることを客観的に確認できる書類

なお、学習歴等を確認できる書類が添付できない場合は、中学校卒業後、あなたがこれまで何をどのように学んできたか、詳しく記述してください（様式自由）。

4 入学資格審査の方法及び審査期間

(1) 入学資格審査は、申請書類により行います（必要に応じて、面接を行うこともあります）。

(2) 審査は原則として、令和 9 年 1 月 29 日（金）までに行います。

5 入学資格審査基準

(1) 上記 2 の(1)に該当する者

申請者の当該学校の教育内容等が高等学校学習指導要領に準じているかを精査し、申請者の学習歴、必要に応じて行う面接の結果を総合的に判断し、高等学校卒業と同等以上の学力があるかどうかを審査します。

※ 「当該学校の教育内容等が高等学校学習指導要領に準じていること」とは、以下のとおりです。

当該学校の年間及び週当たりの授業時間数、履修する主要教科・科目及び卒業までに必要な単位数が、高等学校学習指導要領に定める標準授業時数、全ての生徒に履修させる各教科・科目及び卒業までに習得させる単位数と同等以上であること。

(2) 上記 2 の(2)に該当する者

申請者の学習歴及び社会における実務経験等の実績、必要に応じて行う面接の結果を総合的に判断し、高等学校卒業と同等以上の学力があるかどうかを審査します。

6 入学資格審査の結果

入学資格審査の結果は、申請者あてに郵送により通知します。入学資格を認められた者については、「山口県立大学入学資格認定書」を交付します。

7 山口県立大学入学者選抜試験の出願

「山口県立大学入学資格認定書」の交付を受けた者は、本学の入学者選抜試験に出願することができます。出願の際は、必ず「山口県立大学入学資格認定書」の写しを添付してください。

15 入試情報の開示

本学の入学試験を受験した者は、入学試験に係る個人別成績情報を知ることができます。申し込みがあれば、点数評価又は段階評価で成績を提供します。

なお、すべての選抜において、成績の提供は、令和9年度4月中旬を予定しています。

詳しくは、山口県立大学 Web ページ (<https://www.yamaguchi-pu.ac.jp/ee/eo/faq/seisekikaiji/>) をご覧ください。

問い合わせ先

〒753-8502 山口県山口市桜島6丁目2番1号

山口県立大学 学生部入試部門

電話 083-929-6503 (直通)

083-929-6600 (代表)

16 高等教育の修学支援新制度

本学は、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年5月10日成立）に基づく修学支援の対象機関となりました。令和9年度も対象機関となる見込みです。

該当の方は、入学後に入学金を還付しますので、別途お知らせします。

17 出願方法

Web 出願を実施しています。Web 出願の流れについては、53 ページ以降をご確認ください。

Web出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP

1



事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。(スマートフォン、タブレットは非推奨)
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…調査書、写真データなど



STEP

2



Web出願サイトにアクセス

Web出願サイト ▶ <https://e-apply.jp/ds/yamaguchi-pu-s/>

または、

大学ホームページ ▶ <https://www.yamaguchi-pu.ac.jp/>

からアクセス



STEP

3



マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。

なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



①初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。



②メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 を
クリックしてください。



③ユーザー登録画面から
ログインページへ を
クリックしてください。



④登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメール
を受信できるように設定してください。



⑤ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で
届いた『初期パスワード』にて
ログイン を
クリックしてください。



⑥初期パスワードの変更を
行ってください。



⑦表示された個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。



⑧個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。



⑨ 登録完了となります。
マイページへ
をクリックしてください。



⑩ 上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、**出願手続きを行う** ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので **ログアウト** ボタンをクリックしてください。

STEP

4



出願内容の登録

※画面はイメージです。

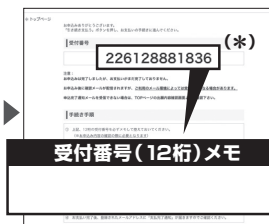
画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



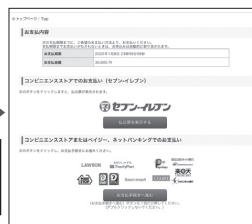
① 試験区分、志望学部・
学科等



② 個人情報(氏名・住所等)



③ 申込登録完了
受付番号(12桁)メモ
受付番号(12桁)は必ず控えてください。
出願情報を確認する場合と、出願書類を
出力する際に必要になります。



④ 入学検定料の支払い方法
● コンビニエンスストア
● ペイジー対応銀行ATM
● ネットバンキング ● クレジットカード

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の
選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンス
ストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合	
払込票番号 メモ(13桁)	

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合	
オンライン決済 番号メモ(11桁)	

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、 ペイジー対応銀行ATMの場合	
お客様番号 メモ(11桁)	
確認番号 メモ(6桁)	
収納機関番号 (5桁)	5 8 0 2 1

※収納機関番号は、ペイジーで
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を
許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい出願
内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP

5

入学検定料の支払い

*検定料の支払いには期限があります。

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA, Master, JCB, AMERICAN EXPRESS, MUFGカード, DCカード, UFJカード, NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能

セブン-イレブン

Loppi

LAWSON

MINI STOP



マルチコピー機

あなたも、コンビニに、
FamilyMart



各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、
内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

3 コンビニエンスストア

セブン-イレブン

セブン-イレブン



店頭レジ

レジで
「インターネット代金
支払い」と伝える

「払込票番号
(13桁)」を伝える

レジで検定料を現金で支払う※

領収書(レシート形式)を必ず受け取る

デイリーヤマザキ ヤマザキデイリーストア



店頭レジ

レジで
「オンライン決済」と
伝える

「オンライン決済番号
(11桁)」を伝える

レジで検定料を現金で支払う※

領収書(レシート形式)を必ず受け取る

ローソン ミニストップ

LAWSON

MINI STOP



Loppi

「各種番号をお持ち
の方」を選択

「お客様番号
(11桁)」入力

「マルチペイメント
サービス」を選択

「確認番号(6桁)」
入力

支払い内容確認

発券された申込券(受付票)をレジへ持参し、
検定料を現金で支払う※
申込券(受付票)発行後は30分以内にレジにて
支払ってください。

払込受領証または受領書(レシート形式)を必ず受け取る

ファミリーマート

あなたも、コンビニに、
FamilyMart



マルチコピー機

「代金支払い/チャージ
(コンビニでお支払い
Payment/Charge)」
を選択

「お客様番号
(11桁)」入力

「確認番号(6桁)」
入力

支払い内容確認

レジで検定料を
現金で支払う※

領収書(レシート形式)を必ず受け取る

セイコーマート

Seicomart



店頭レジ

レジで
「インターネット代金
支払い」と伝える

「オンライン決済番号
(11桁)」を伝える

レジで検定料を
現金で支払う※

領収書(レシート形式)を必ず受け取る

4 銀行ATM

Pay-easy 利用ATM

Pay-easy



ペイジー対応銀行ATM

「税金・料金払い
込み」などを選択

収納機関番号
「58021」
を入力

「お客様番号
(11桁)」入力

「確認番号(6桁)」
入力

支払い内容確認

「現金」「キャッシュ
カード」を選択し
支払う※

ご利用明細書を
必ず受け取る

※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

STEP

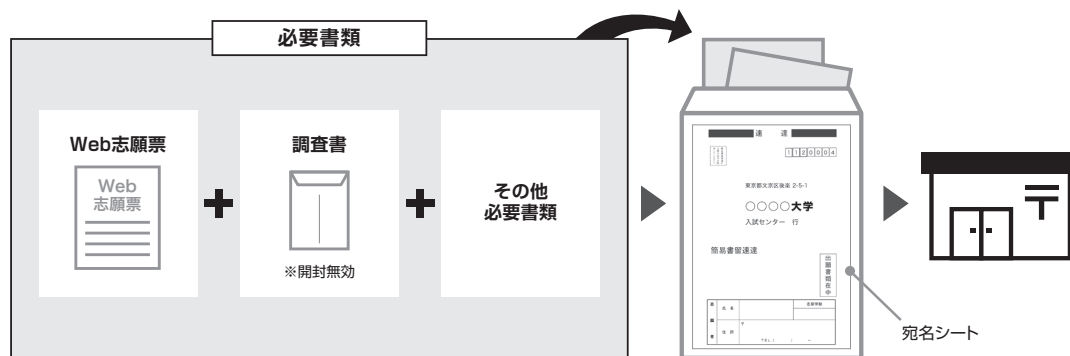
6



必要書類の印刷と郵送

*登録しただけでは出願は完了していませんのでご注意ください。

出願登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を印刷し、その他の必要書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から「簡易書留速達郵便」で郵送してください。※出願締切日までに必着。



送付先

〒753-8502 山口県山口市桜島6-2-1
山口県立大学 入試部門 行

■出願書類

詳細は出願要項「出願書類」を確認してください。

※出願受理した入学検定料・必要書類は原則返却しません。

「Web志願票」の印刷方法



- (1) マイページに表示された「志願票(印刷)」のボタンをクリックしてください。
- (2) お支払いが正常に完了すると「志願票(印刷)」のボタンがクリックできるようになりWeb志願票の出力ができます。

〈出願完了〉

出願時の
注意点

出願はWeb出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。
登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届かなければ出願を受理できませんのでご注意ください。

Web出願は24時間可能です。ただし、出願登録は出願締切日16時まで、入学検定料の支払いは出願締切日まで(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります)、必要書類の郵送は出願締切日必着です。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

7



受験票の印刷

本学で出願を確認後、各入試毎に出願期間受付終了後から試験前日までの間に一斉に受験票を配信します。Web出願システムよりダウンロードできる状態にしますので、必ず印刷し、試験当日持参してください。
(※郵送はいたしません)。

※受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールで通知します。

【印刷に関する注意事項】受験票は必ずA4用紙に片面印刷にしてください。



令和6年度(2024年度) 入学者選抜一覽表

学 部 ・ 学 科	募 集 人 員				志 願 者 数				受 験 者 数				合 格 者 数				入 学 者 数			
	学校 推薦 (県内) (地域)	外国人	一般選抜		合 計	学校 推薦 (県内) (地域)	外国人	一般選抜		合 計	学校 推薦 (県内) (地域)	外国人	一般選抜		合 計	学校 推薦 (県内) (地域)	外国人	一般選抜		合 計
国際文化学部 国際文化学科	29 (18) (11)	若干名	27	6	62 227	37 (19) (18)	2	57	131	227	37 (19) (18)	0	49	30	116	29 (18) (11)	0	37	8	74
	24 (16) (8)	若干名	23	5	52 200	49 (25) (24)	3	55	93	200	49 (25) (24)	3	53	33	138	24 (16) (8)	1	28	6	59
文化創造学科	53 (34) (19)	若干名	50	11	114 427	86 (44) (42)	5	112	224	427	86 (44) (42)	3	102	63	254	53 (34) (19)	1	65	14	133
国際文化学部・計	49 (29) (20)	—	46	8	103 305	74 (33) (41)	—	107	124	305	74 (33) (41)	—	99	38	211	49 (29) (20)	—	55	10	114
社会福祉学部 社会福祉学科	27 (22) (5)	—	23	5	55 193	71 (45) (26)	—	49	73	193	71 (45) (26)	—	45	25	141	27 (22) (5)	—	24	6	57
看護栄養学部 看 護 学 科	20 (12) (8)	—	20	2	42 177	52 (31) (21)	—	45	80	177	52 (31) (21)	—	43	22	117	20 (12) (8)	—	24	2	46
栄 養 学 科	47 (34) (13)	—	43	7	97 370	123 (76) (47)	—	94	153	370	123 (76) (47)	—	88	47	258	47 (34) (13)	—	48	8	103
看護栄養学部・計	149 (97) (52)	若干名	139	26	314 1,102	283 (153) (130)	5	313	501	1,102	283 (153) (130)	3	289	148	723	149 (97) (52)	1	168	32	350
合 計																				

令和7年度(2025年度) 入学者選抜一覽表

学 部 ・ 学 科	募 集 人 員				志 願 者 数				受 験 者 数				合 格 者 数				入 学 者 数											
	総合型	学校推薦 (県内) (地域)	外国人	一般選抜		（定合 員計）	総合型	学校推薦 (県内) (地域)	外国人	一般選抜		合 計	総合型	学校推薦 (県内) (地域)	外国人	一般選抜		合 計	総合型	学校推薦 (県内) (地域)	外国人	一般選抜						
				前期	後期					前期	後期					前期	後期					前期	後期					
国際文化学部	5	25 (15) (10)	若干名	16	4	50	35 (35) (21)	56 (35) (21)	2	90	114	297	35 (35) (21)	56 (35) (21)	2	82	32	207	5 (15) (10)	25 (15) (10)	1	27	4	62	5 (15) (10)	23 (10) (10)	3	57
国際文化学科																												
文化創造学科	5	22 (13) (9)	若干名	15	3	45	31 (26) (23)	49 (26) (23)	1	50	86	217	31 (26) (23)	49 (26) (23)	1	47	28	156	5 (13) (9)	22 (13) (9)	0	20	3	50	5 (13) (9)	19 (9) (9)	3	49
情報社会学科	5	20 (12) (8)	若干名	20	3	40	15 (10) (2)	12 (10) (2)	2	25	30	84	15 (10) (2)	12 (10) (2)	2	25	8	62	5 (10) (2)	12 (10) (2)	1	22	5	45	5 (10) (2)	21 (2) (2)	5	44
国際文化学部・計	15	67 (40) (27)	若干名	51	10	135	81 (71) (46)	117 (71) (46)	5	165	230	598	81 (71) (46)	117 (71) (46)	5	154	68	425	15 (38) (21)	59 (38) (21)	2	69	12	157	15 (38) (21)	63 (21) (21)	11	150
社会福祉学部																												
社会福祉学科	9	41 (24) (17)	－	30	7	87	30 (18) (32)	50 (18) (32)	－	108	119	307	30 (18) (32)	50 (18) (32)	－	105	38	223	9 (18) (23)	41 (18) (23)	－	33	9	92	9 (18) (23)	30 (18) (23)	7	87
看護栄養学部	－	27 (22) (5)	－	23	5	55	－ (51) (17)	68 (51) (17)	－	92	146	306	－ (51) (17)	68 (51) (17)	－	90	43	201	－ (22) (5)	27 (22) (5)	－	24	7	58	－ (22) (5)	22 (22) (5)	7	56
看護学 科																												
栄養学 科	－	20 (12) (8)	－	20	2	42	－ (24) (24)	48 (24) (24)	－	52	85	185	－ (24) (24)	48 (24) (24)	－	50	24	122	－ (12) (8)	20 (12) (8)	－	21	7	48	－ (12) (8)	18 (12) (8)	6	44
看護栄養学部・計	－	47 (34) (13)	－	43	7	97	－ (75) (41)	116 (75) (41)	－	144	231	491	－ (75) (41)	116 (75) (41)	－	140	67	323	－ (34) (13)	47 (34) (13)	－	45	14	106	－ (34) (13)	40 (13) (13)	13	100
合 計	24	155 (98) (57)	若干名	124	24	319	111 (164) (119)	283 (164) (119)	5	417	580	1,396	111 (164) (119)	283 (164) (119)	5	399	173	971	24 (90) (57)	147 (90) (57)	2	147	35	355	24 (90) (57)	133 (133) (57)	31	337

※学校推薦型選抜において情報社会学科の合格者が募集定員に満たなかったため、その欠員分を一般選抜前期日程の募集人員に加えている。

令和8年度(2026年度)入学者選抜一覧表

募 集 人 員				志 願 者 数				受 験 者 数				合 格 者 数				入 学 者 数							
学 部 ・ 学 科	学校 推薦 （県内） （地域）	外国人	一般選抜		（定合 員計）	学校 推薦 （県内） （地域）	総合型	一般選抜	合 計	学校 推薦 （県内） （地域）	外国人	一般選抜	合 計	学校 推薦 （県内） （地域）	総合型	外国人	一般選抜	合 計	学校 推薦 （県内） （地域）	総合型	外国人	一般選抜	合 計
			前期	後期																			
国際文化学部	5 (15) (10)	25 若干名	16 4	50		55 (36) (19)	3 73 65	232	36	55 (36) (19)	0 64 15	15 170	5 57	25 (15) (10)	5 (15) (10)	0 20 4	25 (15) (10)	54					
国際文化学科																							
文化創造学科	5 (13) (9)	22 若干名	15 3	45		77 (27) (50)	0 60 23	258	60	77 (27) (50)	0 56 23	216	5 49	22 (13) (9)	5 (13) (9)	0 17 5	22 (13) (9)	49	5 (13) (9)	22 (13) (9)	5 (13) (9)	0 17 5	49
情報社会学科	5 (12) (8)	20 若干名	24 3	40		8 (2) (6)	1 52 91	162	10	8 (2) (6)	1 49 27	95	5 49	8 (2) (6)	5 (2) (6)	1 29 2	8 (2) (6)	45	5 (2) (6)	8 (2) (6)	1 29 2	45	
国際文化学部・計	15 (40) (27)	67 若干名	55 10	135		140 (65) (75)	4 185 217	652	106	140 (65) (75)	1 169 481	481	15 155	55 (30) (25)	15 (30) (25)	1 66 11	55 (30) (25)	148	55 (30) (25)	15 (30) (25)	1 66 11	148	
社会福祉学部	9 (24) (17)	41 若干名	30 7	87		60 (28) (32)	— 49 55	212	48	59 (28) (31)	— 45 16	168	9 91	41 (24) (17)	9 (24) (17)	— 32 8	41 (24) (17)	90	41 (24) (17)	9 (24) (17)	— 32 8	90	
看護栄養学部	— (22) (5)	27 若干名	23 5	55		62 (50) (12)	— 34 55	151	—	62 (50) (12)	— 34 15	111	— 56	27 (22) (5)	— (22) (5)	— 24 5	27 (22) (5)	56	27 (22) (5)	— (22) (5)	— 24 5	56	
看護 学 科																							
栄 養 学 科	— (12) (8)	20 若干名	20 2	42		53 (25) (28)	— 42 55	150	—	53 (25) (28)	— 40 12	105	— 47	20 (12) (8)	— (12) (8)	— 18 5	20 (12) (8)	43	20 (12) (8)	— (12) (8)	— 18 5	43	
看護栄養学部・計	— (34) (13)	47 若干名	43 7	97		115 (75) (40)	— 74 27	216	—	115 (75) (40)	— 74 27	216	103	47 (34) (13)	— (34) (13)	— 42 10	47 (34) (13)	99	47 (34) (13)	— (34) (13)	— 42 10	99	
合 計	24 (98) (57)	155 若干名	128 24	319		315 (168) (147)	4 310 382	1,165	154	314 (168) (146)	1 288 108	865	349	143 (88) (55)	24 (88) (55)	1 150 31	143 (88) (55)	337	143 (88) (55)	24 (88) (55)	1 140 29	337	

※学校推薦型選抜において情報社会学科の合格者が募集定員に満たなかったため、その欠員分を一般選抜前期日程の募集人員に加えている。

山口県立大学案内図



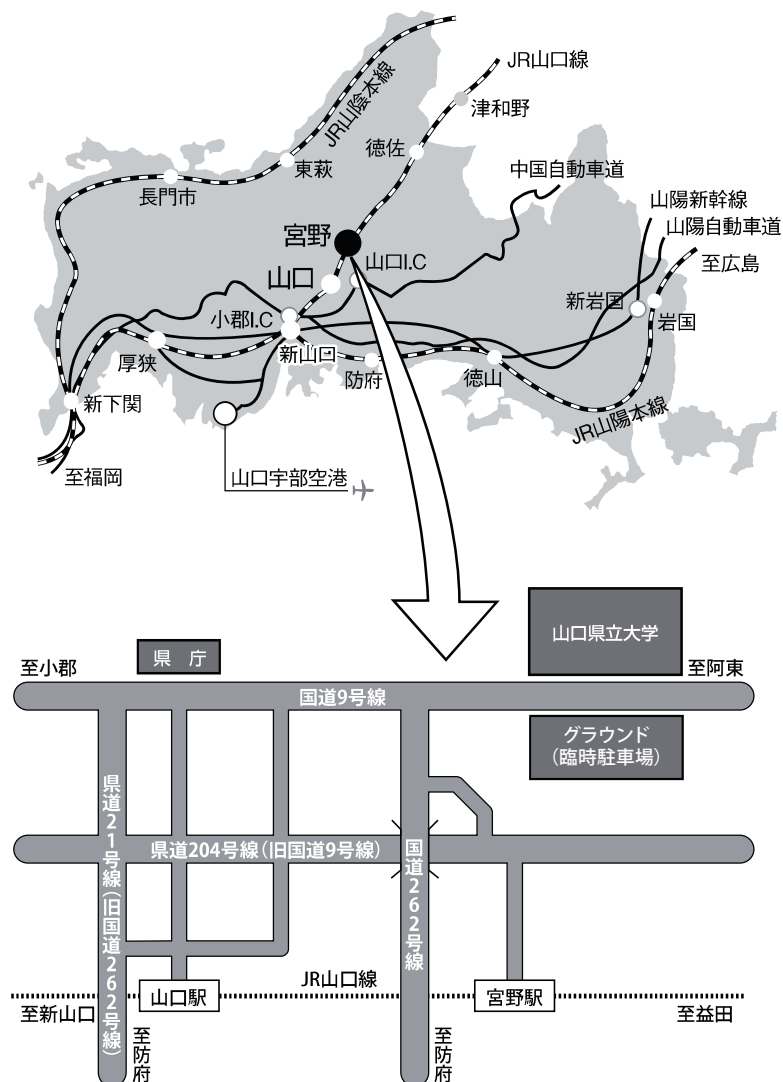
山口県立大学への交通

- ① 新幹線又は山陽本線『新山口駅』で山口線の「益田行」又は「宮野行」に乗り換え、『宮野駅』下車、北キャンパス徒歩10分、南キャンパス徒歩5分
(『山口駅』下車の場合はタクシー約10分)
- ② 防長バス又はJRバスで『県宮野庁舎前』下車

[注意] 送迎車両は試験会場には入構できません。



Access Map



山口県立大学への交通

●JRをご利用の場合

[九州方面、関西方面から]

新幹線 新山口駅で山口線に乗り換え、宮野駅下車、北キャンパス徒歩10分

[益田方面から]

山口線宮野駅下車、北キャンパス徒歩10分

●バスをご利用の場合

防長バス又はJ Rバスで県宮野庁舎前下車 北キャンパス徒歩7分

●車をご利用の場合

山口インターチェンジから国道262号で山口方面へ

●飛行機をご利用の場合

山口宇部空港から車で約1時間

もしくはJR宇部線 新山口駅で山口線に乗り換え、宮野駅下車 北キャンパス徒歩10分

—— 入学者選抜要項に関する問い合わせ先 ——

山口県立大学 学生部入試部門

〒753-8502 山口県山口市桜畠6丁目2番1号

TEL 083-929-6503 (直通)

083-929-6600 (代表)

FAX 083-929-6515

電子メール nyushi@yp4.yamaguchi-pu.ac.jp

Webページ <https://www.yamaguchi-pu.ac.jp/>

